

一誠堂古書目錄

令和五年十一月 第一三三號



會津八一氏書額「一誠堂」昭和12(1937)年

|| 古書の買受けについて ||

ご不要な書物などございましたら、ぜひ私共にご相談下さい。評価は各分野専門の係が、豊富な経験をもとに責任を持って行いますので、必ずご満足頂けるものと確信しております。

本のご処分、ご整理の際には、創業120年の伝統と信用を重んじる「**一誠堂**」を是非ご利用下さい。

一誠堂書店オンラインショップ

<https://www.isseido-books.co.jp/shop/>



新入荷品や在庫を閲覧、そのままご注文いただけます

A
2023

CATALOGUE

OF

THE

ISSEIDO

NO.132

一誠堂古書目録



国際古書籍商連盟



日本古書籍商協会

和	全集・叢書	一五
日	書誌学	二〇
政治・社会・経済・産業史	史	二二
外交・渉史・切支丹	史	三二
洋学・交・通史	史	三七
東洋史	史	四五
伝記	記	五二
民俗・風俗	俗	五七
宗教	教	六一
神道	道	七〇
国語・国文学	学	七二
和歌・万葉・連歌・俳諧	諧	八三
近代文学・評論	論	八七
漢文	文	九三
芸能・演劇・映画	画	九六
考古学	学	九九
美術・複製	製	一〇一
洋書	(後表紙から始まります)	

御挨拶

いつも弊店をご利用いただき、誠にありがとうございます。日ごとに秋も深まってまいりましたが、皆様益々ご健勝にてご活躍のことと存じ上げます。

古書目録第百三十二号をお手許にお届けいたします。お目通しの上ご用命くだされば幸いに存じます。

昨今の社会経済情勢の変化には著しいものがございますが、私共は文化の礎ともなる書物の保存継承に微力ながら貢献しお客様方のお役に立てますよう、引き続き努力してまいる所存でございます。

今後とも何卒ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

令和五年十一月

一誠堂書店
酒井健彦

☆勝手ながら年末年始は十二月三十日(土)より一月四日(木)まで休業させて頂きます。

御注文について

☆掲載品はほとんどが在庫一部限りでございますので、なるべく早く御照会の上、前金にて御注文下さい。

☆官庁・学校・図書館等の御注文は前金を要しません。納品、支払いに要する書類等を御注文の際にご指示下さい。見計らいをご希望の場合はご相談下さい。

☆表示価格は全て総額表示(消費税込)となっております。

☆御送金は左記銀行口座振込又は郵便振替をご利用下さい。

みずほ銀行九段支店(当座預金) 〇一〇〇五七六

三菱UFJ銀行神保町支店(当座預金) 九〇二〇九八五

三井住友銀行神田支店(当座預金) 二〇三四七四

郵便振替 〇〇一五〇一―二五二八―

☆店頭でのお支払いにつきましては各種カード及コード決済をご利用になれますのでお申し出下さい。

☆荷造費・送料は実費を頂戴致しております。

☆本目録掲載品以外にも多数在庫がございますので御探しの本がございましたら御遠慮なく御照会下さい。

営業時間 午前十時～午後六時半

定休日 毎日曜日・祝日

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一―七

電話 〇三(三三九二)〇〇七一(代)

FAX 〇二(三三九二)〇〇九五

Eメール mail@isseido-books.co.jp

店舗二階(洋書・和本)直通 電話 〇三(三三九二)〇〇七二
FAX 〇三(三三九二)〇〇七六

最寄駅 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線「神保町駅」出口A7・A5

より徒歩約一分 JR御茶ノ水駅・水道橋駅より徒歩約十分



4 常盤木 仮名草子 藤井懶齋著 享保頃刊
美濃判 後補包背装 少虫食・欄外少染み
黒川家旧蔵 1冊 55,000円



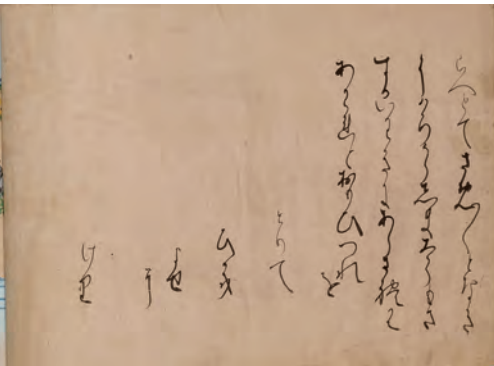
1 校訂 伊勢物語図会 市岡猛彦校
岡田玉山画 文政8年刊 美濃判
元表紙疲れ 少染み 3冊 55,000円



二
大字
新板つれ、草 寛延四年刊
美濃判 元表紙疲れ
二冊 八五八〇〇円



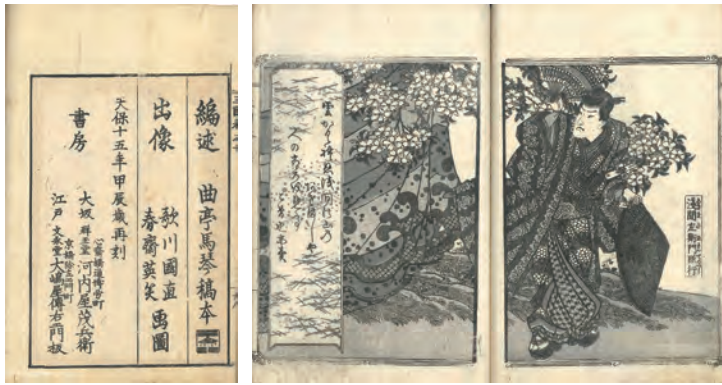
三
うら嶋 奈良絵本 江戸前期作 極彩色入



一冊 二,100,000円



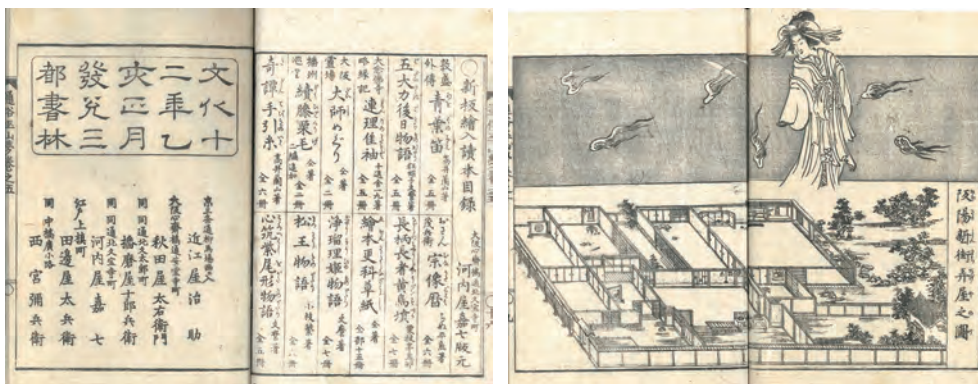
五
いろは醉故傳 読本 中本
振鷲亭著 自画か
寛政六年序刊 原装
一冊 一三三〇〇円



六
淺土三国一夜物語 読本 半紙本
曲亭馬琴著編 歌川国直・春齋英笑画
文化二年跋 天保十五年再刻 原装
薄墨刷口絵入 下部少手擦れ 揃七卷
八冊 九四六〇円



七
函嶺復讐談 読本 中本
感和亭鬼武者 蹄齋北馬画
文化五年刊 少虫食 少手擦れ
二冊 九四六〇円



8 通俗巫山夢 読本 十返舎一九作 松高齋春亭画 文化12年刊 半紙本 原装 5冊 132,000円

九

松風村雨物語 読本 半紙本

文東陣人著 前編国直・後編英泉画
文化十二・文政九年刊 下部少手擦れ
一部に少墨悪戯書き 少虫食
薄い水染み 揃 一〇冊 六八〇円



文政九年 丙戌春
浪華 河内屋太助
書房 伊勢屋忠左衛門
東都 大坂屋茂吉
西村 典八
加賀屋源助

一〇

奇情 以呂波草紙 読本 半紙本

晚鐘成作并画 文政六年刊
淡彩色刷口絵・薄墨刷絵入
手擦れ 五冊 七五八〇円



攝都 晚鐘成作并画
文政六年春正月發行
和正共衛書
本 屋宗七
大坂屋茂吉
河内屋源助

二

夢世 白壁草紙 読本 半紙本

東里山人著 岳亭春信画
文政七年刊 原裝 少手擦れ傷み
数丁にコゲ穴 揃 六冊 五七二〇円



江戸 巖作者 東里山人
西師 岳亭春信
文政七年 甲申正月發行
書房 花月堂
大坂 帶屋安兵衛

三

重忠 堀川清談初編 読本 半紙本

楚満人(為永春水)作 英泉画
文政九年刊 原裝 二編の内
一部僅か虫食、下部少手擦れ補修
五冊 七五八〇円

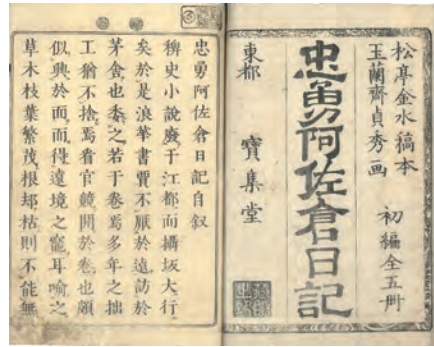




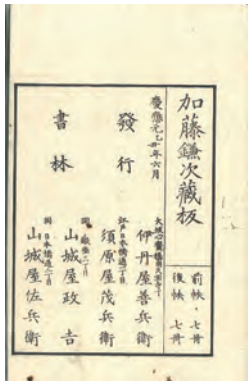
一四 蒙賊記 読本 石川真清編
安政五年刊 美濃判 原裝 刷良
虫食有 五冊 五五〇〇円



13 八景起原 釈迦実録 鈴亭谷峨訳述 橋本玉蘭画
安政元年刊 明治刷 5冊 19,800円



一五 忠勇阿佐倉日記 読本 半紙本
松亭金水作 玉蘭齋貞秀画
江戸後期刊 原裝 色刷口絵入
少虫食 少水染み 下部少手擦れ
初〜三編揃 一五冊 八四七〇円



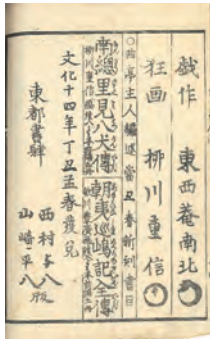
16 繪本孫子童観抄 読本 中村経年編 玉蘭齋画 慶応元年刊 美濃判 原裝 一部虫食有 14冊 66,000円



18 商内神 洒落本 十返舎一九作・画 享和2年自序刊
後版 小本 保存ほぼ良 1冊 74,800円



17 倡客竅学問 洒落本 小本
十返舎一九作・画 享和二年自序刊
再刻本 1冊 71,500円



一九 願懸注文帳 滑稽本
東西庵南北作 柳川重信画
文化十四年刊 中本
挿絵の一部に少色差し
一冊 一三、〇〇〇円



23 春色梅美婦 人情本 為永春水著
国直画 江戸後期刊 中本 全五巻揃
数冊に少虫食・水染み 色刷口絵入
15冊 69,300円



20 秋夕 霧籠物語 人情本 外題「八重桜」
南仙笑楚満人関 玉川亭調布作 溪斎英泉画
文政7年刊 中本 原裝 淡彩刷口絵入
前後編揃 6冊 132,000円



三 小阪東水滸伝一名星月録
人情本 狂訓亭主人(為永春水)編述 松亭金水校
英泉・国安・泉晁・貞房画
文政十三・十四年刊 中本
原裝 初輯・第二輯揃
以下未刊 六冊 八八、〇〇〇円



三 仮名文章娘節用 人情本
曲山人作 歌川国直画
天保年間刊 中本 原裝
淡彩色刷口絵入
九冊 一五、〇〇〇円



24 驚聞 御富興行會我 黄表紙 山東鶏告作 政演画 天明6年刊 中本 原裝保存良

3冊 220,000円



三五 狂言末広栄 黄表紙
 山東京伝作 歌麿画
 (天明8年刊) 中本 元題簽欠
 三卷合本 色差し有
 一冊 一六〇〇円



三六 流行歌川船合奏 合卷 六卷揃
 はやうたがわねのつれびき
 尾上梅幸作 花笠文京代作 国貞画
 文政8年刊 中本 二冊 八四七〇円



三七 牽牛織女願絲竹 合卷
 曲亭馬琴著 歌川国貞画
 文政10年刊 中本 六卷揃
 三冊 七〇〇〇円



二六 薄紫宇治曙 合巻 柳下亭種員・笠亭仙果著 豊国・国貞画
 嘉永三〜安政三年刊 中本 八編揃 一六冊 九三、五〇〇円



二九 敵討噂古市 合巻 種清作 国貞画
 安政四年刊 三編十二巻揃 元袋一枚付 六冊 八四、七〇〇円



三〇 いろは仮名黄金捺 合巻
 桜田治助作 柳水亭種清編
 歌川国貞画 安政五年刊
 中本 元袋付 三冊 五七、二〇〇円



三
御所奉公東日記初〜十二編 合巻 万亭応賀作
芳虎画 安政〜文久刊 中本 全十三編の内
下部やや手擦れ 二冊 五七〇〇円



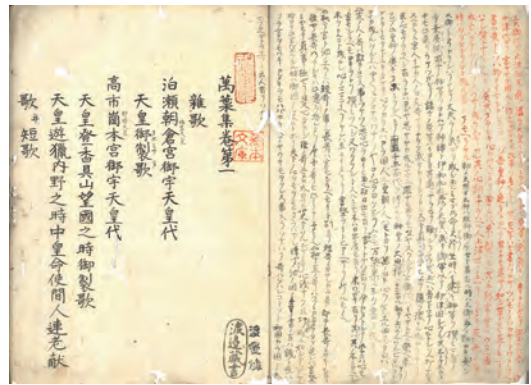
三
新增補西国奇談初〜十八
合巻 春水作 国貞・芳虎画
万延二〜明治三年序刊 中本
薄墨刷口絵入 二十編の内
二編每合本 少手擦れ有
元袋付 九冊 八四七〇円



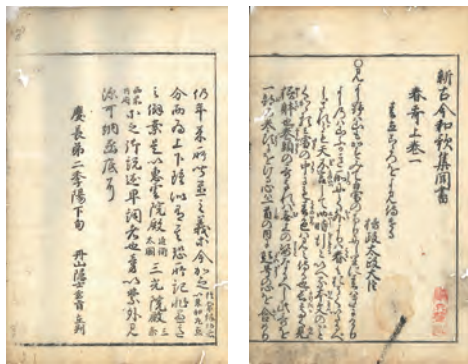
34 新編伊香保土産 初〜六編 合巻
七編の内か 松林伯円作 芳虎・国政画
明治 12・13 年序刊 中本 淡彩刷口絵入
元袋付 18 冊 63,800 円



33 島田一郎梅雨日記 合巻 岡本起泉編
芳川春濤校 房種画 明治 12 年刊
中本 揃 元袋付 5 冊 55,000 円



35 万葉集 江戸後期写 美濃判 渡邊條による書入有 巻四欠 虫食多 19冊 198,000円

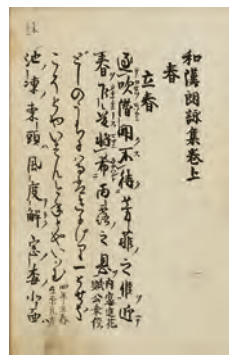
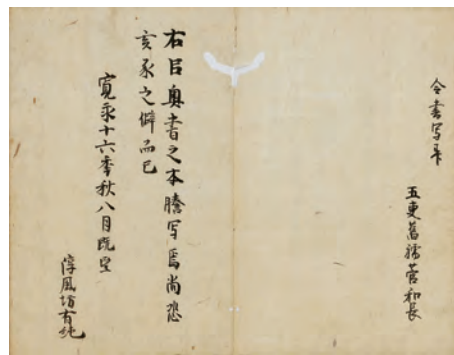


37 新古今和歌集聞書 東常縁講 細川幽齋補 江戸中期刊 美濃判 少虫食有 4冊 27,500円

36 古今和歌集一首撰 大森盛頭編 佐藤玄賢画 嘉永6年刊 百三十人一首 美濃判 改装 1冊 52,800円



三
新撰六帖題和歌 藤原家良等詠
万治三年刊 美濃判 原装
六冊 三〇〇〇円



三
和漢朗詠集
寛永十六年淳風坊(六条)有純写
大きき一三・七×九・八種
一冊 三〇〇〇円

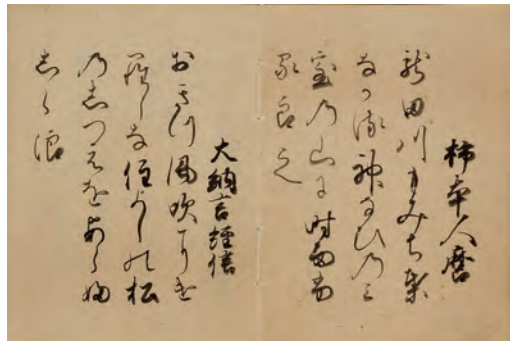
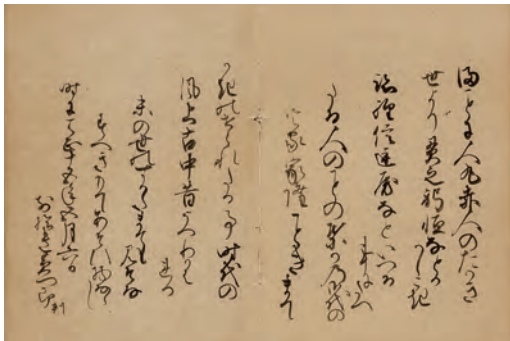
四〇 小倉百人一首かるた 江戸中後期筆并作
 読札・取札各百枚揃 絹本彩色 塗箱入
 帙に「庭田大納言重熙」の紙片貼付あり
 一組 一九〇〇円



42 小倉百人一首かるた 江戸後期頃作
 木版彩色 読札・取札各 100 枚揃 塗箱入
 1組 88,000円



41 小倉百人一首かるた 江戸後期頃作
 読札・取札各 100 枚揃 塗箱入
 1組 132,000円

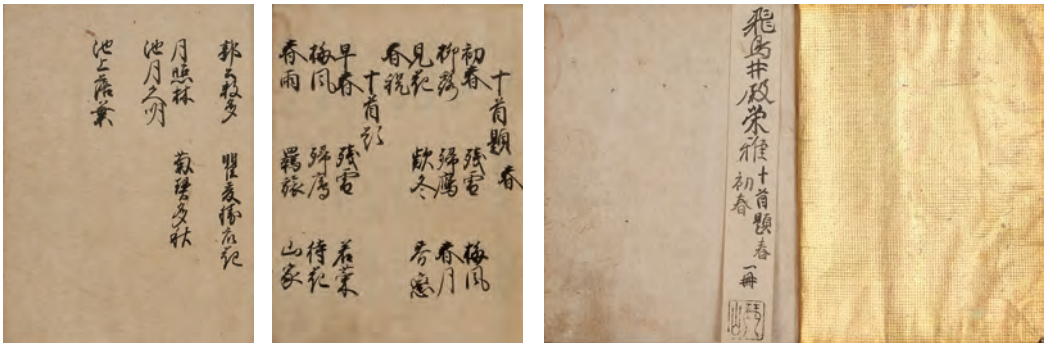


43 時代不同歌合〔抄〕 百人一首 江戸前期写 天正 15 年前拾遺黄門元奥書 小型本 1帖 99,000円

四 拾錦袖中集 和歌選集

江戸初期頃写 小型本
春部・夏部・秋部

一冊 五、〇〇円

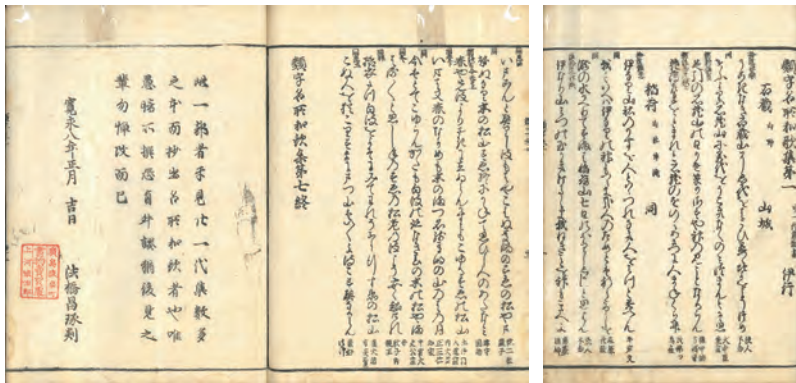


45 〔歌題集〕 伝飛鳥井栄雅（雅親）筆〔室町時代〕写 小型本

1冊 308,000円

四 類字名所和歌集 里村昌琢編

寛永八年跋刊 目録一卷共揃 大本
原装 一部少虫食 七冊 五、八〇〇円



47 繪註歌 遊女五十人一首 安田蛙文撰 月岡丹下（雪鼎）画 宝暦3年刊 初版 美濃判 原裝擦れ
1冊 352,000円



53 〔室町桜舞台〕 絵本番付 笠縫専助・齋馬雪作〔天明5年中村座〕刊 中本 表紙欠 1冊 39,600円



五三 江戸花三升曾我 えどのはなみますそが 絵本番付 中本 桜田治助・中村重助作 北尾政美(鎌形蕙齋)画〔天明3年中村座〕刊 表紙欠 一部少虫食 一冊 五二,000円



五四 花入庵初会曾我 はなのいおりはつかいそが 絵本番付 中本 裏表紙欠 一冊 四一,000円 〔天明7年森田座〕刊 裏打有 瀬川如草・玉巻恵助作



58 昔々掌白猿 むかしむかしてじろのさる 絵本番付 〔瀬川如草等〕作 〔寛政4年市村座〕刊 中本 元表紙及び未半丁欠 少虫食・裏打有 1冊 13,200円



55 雪齋福曾我 ゆきなずさいわいそが 絵本番付 〔天明7年桐座〕刊 中本 元表紙及び首尾欠 裏打有 1冊 8,800円



五六 傾城音孺鏡 けいせいおんずまかみ 絵本番付 中本 〔天明8年中村座〕刊 裏表紙欠 一冊 五二,000円 桜田次助等作



五七 はるのこしきだてぞめが
春錦伊達染曾我 絵本番付
 桜田治助作〔寛政二年中村座〕刊
 中本 裏表紙欠 虫食裏打補修
 一冊 三三〇〇円



五九 はつあけのかみまが
初曙顔曾我 絵本番付
 とよ丸画〔寛政六年都座〕刊
 中本 裏表紙欠 少染み
 一冊 二七五〇円



げんべいはしらがよみ
 60 **源平柱礎磨** 絵本番付 並木五瓶等作〔寛政7年桐座〕刊 中本 原装

1冊 38,500円

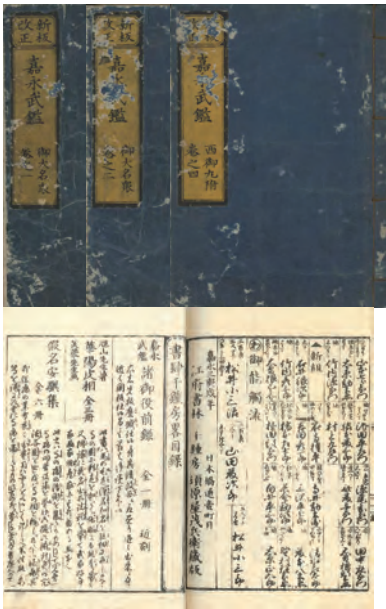


はなやぐらちばなけいず
 61 **花櫓橘系図** 絵本番付 金井由輔等作〔寛政10年市村座〕刊 中本 原装

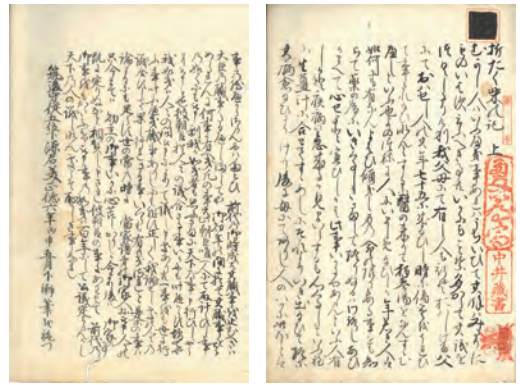
裏打有 1冊 30,800円



62 うつくしきゆきのかい 繪本番付 近松門喬等作〔寛政11年市村座〕刊 中本 原裝 裏打有
1冊 30,800円



64 新板改正 嘉永武鑑 嘉永3年刊 中本
少虫食有 揃 4冊 52,800円



63 折たく柴の記 新井白石著 江戸後期写
美濃判 3冊 33,000円

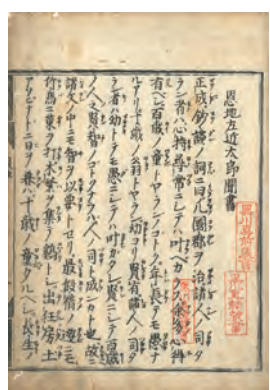


65 十一箇國御固図 諸元御固御役附明鑑 安政五年十月新刻 37.7 × 98.7cm 彩色刷入 少虫食補修
1枚 50,600円

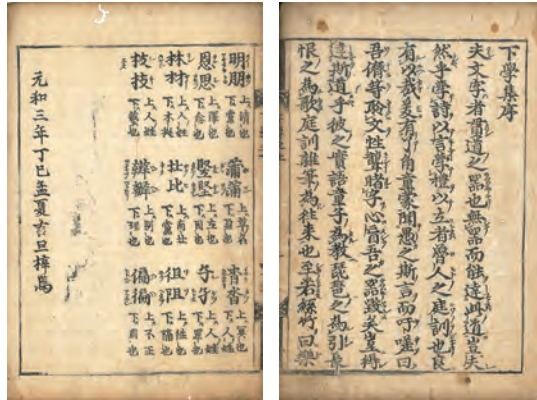
六
歴世女装考 岩瀬百樹(山東京山)
 編撰 京水画 安政二年刊 美濃判
 原装上本 四冊 三〇,〇〇〇円



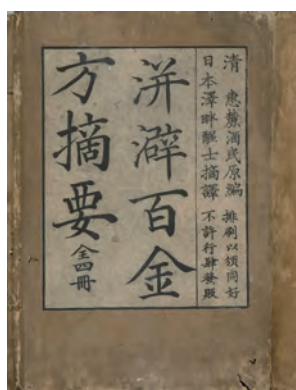
七
恩地左近太郎聞書 兵法 恩地正俊
 正保二年開板 少後印 黒川家旧蔵
 太平記評判秘伝理尽抄の内 一冊 三〇,八〇〇円



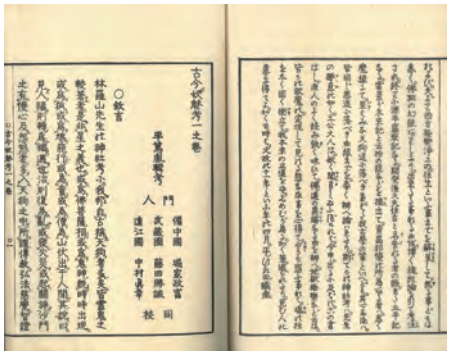
六
下学集 元和三年刊 大本 栗皮表紙
 数丁に少墨染み 二冊 三〇,〇〇〇円



六
汧瀕百金方摘要 兵法
 清・惠麓酒民編 日本・沢畔醒士訳
 嘉永六年自序刊 木活字版
 美濃判 原装 絵入 元帙付
 四冊 三〇,〇〇〇円

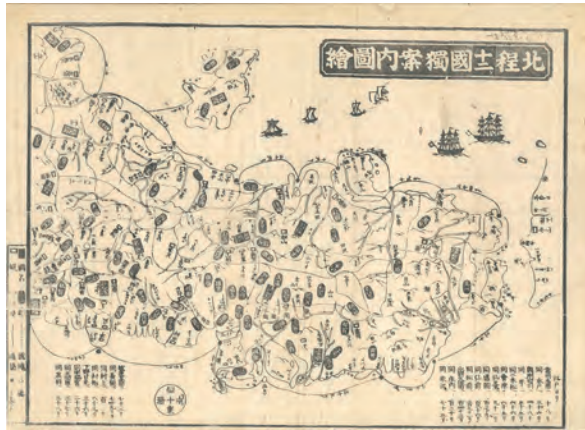


七
古今妖魅考 平田篤胤著
 堀家政富等校 天保二年刊
 美濃判 原装 三冊 一六,〇〇〇円





七
訂新 地球万国方圖 嘉永六年初春刊 木版彩色刷
七九・三×一二六・二櫃 一舖 二〇,〇〇〇円



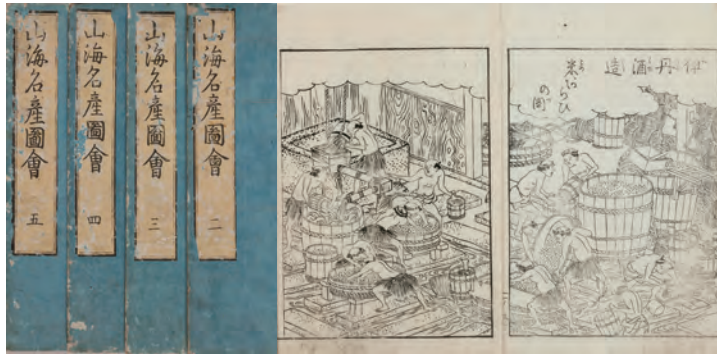
七
北程十二ヶ国案内図繪 江戸後期刊
木版墨刷 約三〇×四〇櫃 一舖 二四,〇〇円



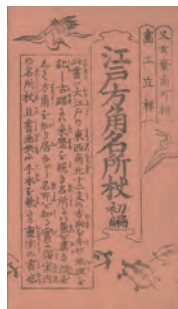
七
〔東叡山寛永寺図〕 江戸中後期写 筆彩色入
六八・八×六二・八櫃 一舖 三〇,〇〇円



三 海外人物輯 永田南溪編
一光齋(歌川芳盛)画 嘉永七年序刊
美濃判 原裝 少虫食有
二冊 一四三〇〇円



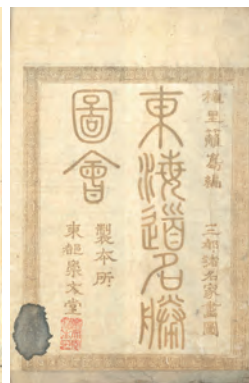
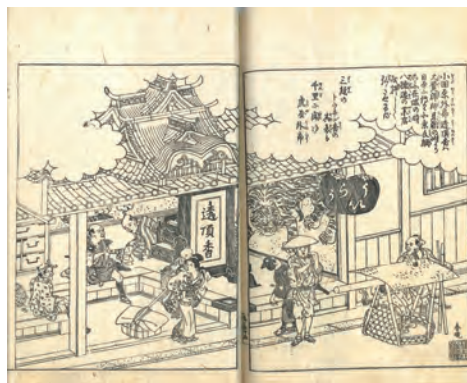
三 日本山海名産図會 部關月画
寛政十一年刊 美濃判
五冊 一三〇〇〇円



78 江戸方角名所杖 又玄齋南可撰 立祥(二代広重)画
慶応2年刊 中本 初・二編揃 色刷口絵入
2冊 44,000円



74 国郡全図 青生東谿著 美濃判
文政11年新彫發兌 2冊 74,800円



六 東海道名産図會 秋里籬島編
北尾政美等画 寛政九年刊 美濃判
原裝 六冊 一三〇〇〇円

七 海岸守備図 嘉永七年頃刊
 約三七・五×六四・五糎 彩色刷
 一舗 三〇〇〇円



八〇 (横浜外国人居留地番地図) 増田万吉 明治四年刊 淡彩刷入
 六・一・三×八・五糎 四七・八×六四・二糎
 二舗 三〇〇〇円



八一 正 横浜案内絵図 五葉舎図
 明治十年前後刊か 木版彩色刷
 三〇・七×四〇・五糎
 一舗 六、〇〇〇円





八二 (駿河国全図) (松嶋堂主人) 作
 文政十年跋刊 六四×一三六・三種
 木版筆彩色 二十二社三十三寺入
 一舗 一六五,〇〇〇円



八三 近江国蒲生郡安土古城図 貞享四年元奥書 江戸中後期写
 筆彩色入 約二三〇×一一一糎
 一舗 二七五,〇〇円



八四 近江国細見圖 山下重政作 寛保二年刊
 外題「近江国大絵図」 木版筆彩色
 八二・八×一三七・七糎 一舗 一,〇〇〇円





八五 (関ヶ原布陣図) 江戸中後期写 筆彩色入
約二〇×一二四糎 一舗 三,〇〇〇円



八六 (承徳三年浪速古図) 文政六年写 約一〇五×一三四糎
筆彩色入 折目補修有 一舗 四,二〇〇円



八七 嘉永三年 琉球人来朝行列図
嘉永三年刊 一部少虫食有
二枚続 一組 二九,〇〇〇円



88 鳥獸人物戯画模本 天保12年写 住吉家旧蔵模本の写し 田安家旧蔵 紙本墨書 1巻 385,000円



八九 後三年合戦絵巻 中模本 (巨勢惟久画)
江戸後期頃写 筆彩色入 有欠 函付
一巻 七〇〇〇円

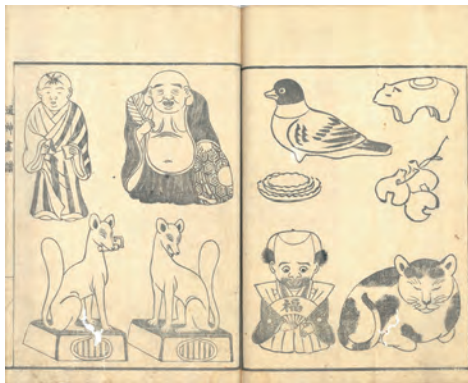


91 隅田川兩岸一覽西 沢田東江撰 鶴岡蘆水画 (天明元年跋) 刊 東西二巻の内 筆彩色入 跋文欠
1巻 660,000円



90 〔日本道中絵図〕 江戸より長崎まで道中絵巻 江戸前期写 紙本彩色

1巻 1,100,000円



九二
通神画譜 合川珉和画
文政二年刊 美濃判 原装上刷
一冊 五〇〇〇円



九三
絵本ふちはかま 絳山樵夫撰
柳川重山(二代重信)画
文政六年序刊 半紙本 彩色刷入
原装上刷 二冊 一〇〇〇〇円



九四 万職圖考三編 葛飾北齋画
天保六年序刊 半紙本 彩色刷入
少水染み有 一冊 三〇〇〇円



九五 秀雅百人一首 緑亭川柳輯
北齋等画 弘化五年刊 中本
淡彩色刷口絵入 少虫食有
一冊 三三〇〇円



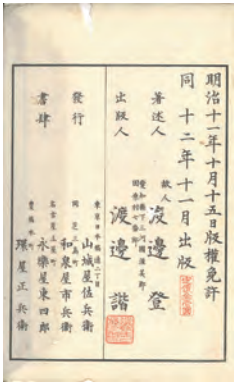
九六 繪本江戸土産 初編
一立齋広重画 嘉永三年序刊
中本 淡彩色刷
一冊 四九五〇円



九七 永濯漫画 初編 鮮齋永濯画
明治十八年刊 中本
淡彩色刷 一冊 三〇〇〇円

九一 掃百態 渡邊華山画

明治十二年刊 大本
元の香色絹表紙付 淡彩色刷
上刷 一冊 一三三〇〇円



九九 蒸気火輪船之図 幕末刊 瓦版

四一・九×三一・四種 ペリー来航についての記事
一枚 四六三〇円



一〇〇 万物出勢寿双六 一筆庵英泉画 嘉永頃刊

元袋付 刷良 保存並 約六三×四三種
一枚 一三三〇〇円





一〇二
門笑 福々寿古六 芳幾画 安政六年刊
六一・五×七一糎 元袋付 少虫食補修有
一枚 一四五〇〇円



一〇三
踊形客振分寿古録 一鶯齋国周画
文久二年刊 約六〇×七二糎 袋なし
刷・保存並 一枚 三六五〇円



一〇三
新板大当役者双六 芳盛画 文久三年刊
約七二×五一糎 袋なし 少虫食有一枚 四〇〇〇円



一〇四 調練仕方出世寿語録
 一柳齋国孝画 慶応二年刊
 四八・六×七二・三 糶 木版彩色刷
 裏打有 一枚 七,五〇〇円



一〇五 憲法発布大典寿語六
 元袋付 刷・保存良
 年昌画 明治二十二年刊
 約七九×四九 糶
 一枚 六,八〇〇円



108 異種蓄微 犯妻會 写真お若 国周画
 明治12年刊 大判
 岩井半四郎 刷・保存良
 新編伊香保土産
 1枚 33,000円



107 鬼神於松 豊国画
 文久2年刊 大判 岩井桑三郎
 刷・保存良 1枚 27,500円



106 万字屋内八ツ橋 香蝶楼国貞画
 天保頃刊 大判 下部僅か汚れ有
 1枚 38,500円



一〇九 和田合戦之図 芳虎画
弘化、嘉永刊 大判三枚続
綴じ穴跡有 一組 六、〇〇〇円



二〇〇 天目山勝頼討死ノ図 国綱画
弘化、嘉永刊 大判三枚続
刷・保存良 一組 二、〇〇〇円



二二 治承四年八月石橋山大合戦
芳員画 嘉永六年刊 大判三枚続
少トリミング 綴じ穴跡有
一組 七、五〇〇円



二二三 伊勢の海士長鮑制ノ図
三代豊国画 万延元年刊
大判三枚続 一部少汚れ・一箇所
小穴有 一組 二、〇〇〇円

二三 御座敷狂言こしらゑの図 五番続

五渡亭国貞画 天保九年刊 大判
坂東三津五郎・蓑助 僅か虫穴
一枚 二七、五〇〇円



二四 江戸紫首尾ノ松 豊国画

安政四年刊 大判三枚続
刷・保存良 一組 四九、五〇〇円



二五 近世水滸伝 組定重次 仮名垣魯文暗記

三代豊国画 文久二年刊 大判
市川團十郎 刷・保存良
一枚 二八、六〇〇円



二六 近世水滸伝 篠崎の政吉 仮名垣魯文暗記

三代豊国画 文久二年刊 大判
坂東彦三郎 トリミング
一枚 二七、五〇〇円



二七 浄瑠璃花暦色浮男 梅蝶楼国貞画

文久三年刊 大判三枚続
小綴穴跡補修 一組 三〇、八〇〇円



二九 新洞水滸伝 新洞小治郎 国周画

慶応元年刊 大判 中村芝翫
刷・保存ほぼ良 一枚 一九、八〇〇円



二八 (百衛魁管我) 国周画
 元治二(慶応元)年正月刊
 大判三枚続 刷・保存良



一組 三八五〇円

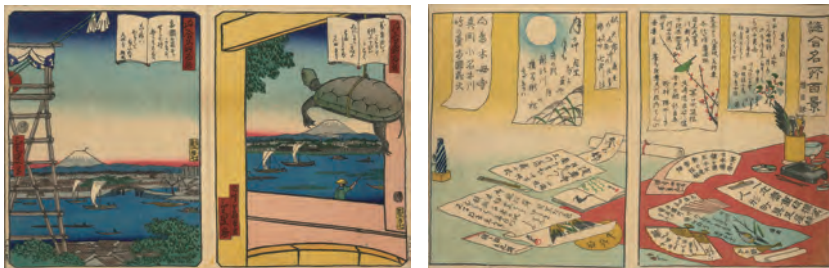
三〇 当世日の出ぞろい 芳幾画
 慶応三年正月刊 大判三枚続
 僅か虫穴補修 一組 三〇、〇〇円



三二 似面鏡 香蝶楼豊国画
 中判十枚綴 中折れ跡 嘉永四年刊か
 一帖 一九八〇円



三三 謎合名所百景 立斎
 重政(三代広重)模写
 慶応二年刊 一五・五×
 一一・七寸 縮細刷絵
 二十枚・同目錄二枚
 帖仕立て 保存良
 一帖 三三、〇〇円





123 女中道しるべ 正徳2年跋刊 元表紙付
5冊 154,000円



124 女要訓和歌文庫 桃江舎漁舟撰
長谷川光信画 寛保3年刊 往来物
美濃判 原装上刷 1冊 71,500円



三五 曹大家女誡和解 教訓
宮川正毅(堀田豊前守)著
文化九年跋刊 黒川家旧蔵
美濃判 少染み有一冊 六六〇円



三六 世界節用無尽蔵 横尾謙七著
色刷口絵入 原装上本



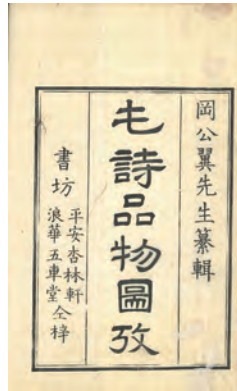
三七 本朝三字経餘師 明治四年刊
(橋爪貫一注) 中本 元袋付
保存良 一冊 四四〇円



126 十二月用文章 浸墨軒輝山書 一柳亭国房画
元治元年頃刊 中本 保存良 1冊 16,500円

松川半山画 明治六年刊
一冊 四九五〇円

三九 毛詩品物図攷 本草 七卷
岡元鳳纂輯 挹芳齋国雄画
天明五年刊 縦長の美濃判
原裝 三冊 六〇五〇〇円



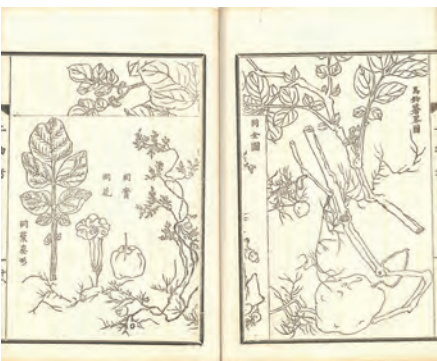
三〇 勸農二物考 救荒書
高野長英著 内田思敬(五観)記
華山画 天保七年新鑄 半紙本
少虫食有 一冊 八八〇〇〇円



三三 勸農一物考 救荒書 高野長英著
内田思敬(五観)記 華山画
明治十六年翻刻 美濃判
銅版刷繪入 一冊 五五〇〇〇円

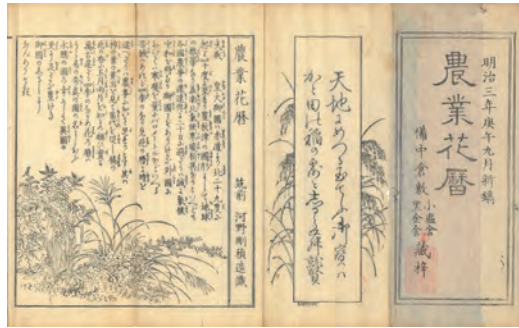


三三 三物考 救荒書 尼子佐々木・
高野長英著 (華山)画
明治十五年刊 半紙本
蕨藤考及び二物考 活版
一冊 三三〇〇〇円





133 農業花暦 河野禎造著 明治3年刊 折本



1帖 82,500円



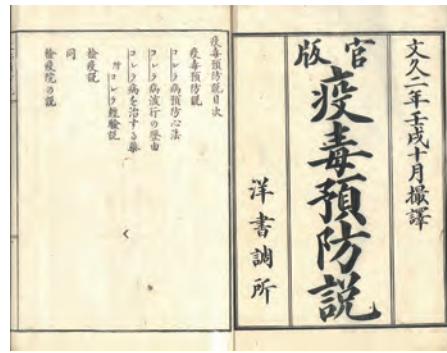
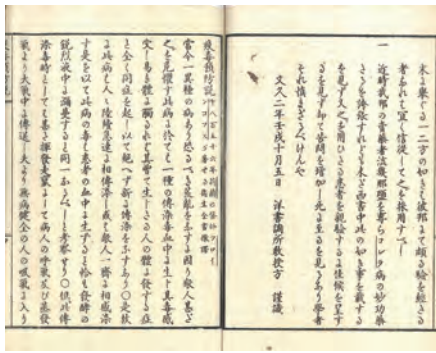
一三
養蚕新論 田島弥平(邦寧)著
明治五年刊 五卷及付録共揃
半紙本 原裝上本
二冊 五二〇〇円



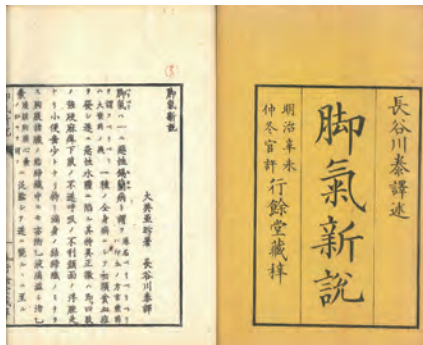
三五
京白粉商標・包紙貼込帖
江戸後期～明治初期 木版彩色刷
約二百七十枚 一帖 三〇〇〇円



三六
洋時辰儀定刻活劇
小川友忠撰 鈴木光尚校
安政四年刊 朱刷入 折帖
図入 一帖 三八〇〇円

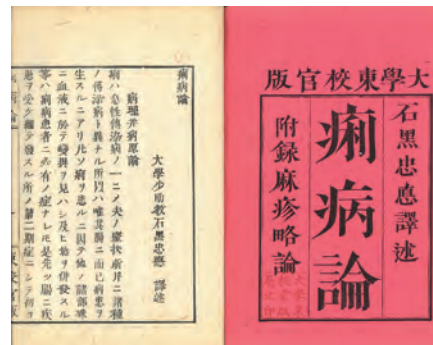


一三
官版疫毒預防説 杉田玄瑞等訳
文久二年洋書調所刊 半紙本
原裝 一冊 四、八〇〇円



一三
婦嬰新説 合信(ベンジヤミン・
ホブソン)著 管茂材撰 幕末頃刊
美濃判 二冊 一、九八〇円

139 脚氣新説 大英亜晰著 長谷川泰訳述
明治4年官許 半紙本 原裝
1冊 5,500円



一四〇 痢病論附録麻疹略論
石黒忠恵訳述(明治四年)刊
東校活版 半紙本 原裝 木活字
一冊 一、六五〇円

141 虎烈刺論 石黒忠恵訳述 明治4年序刊
東校活版 半紙本 原裝 金属活字
1冊 27,500円



一四三 金石一覽圖解 ダナ著
大坪源造訳 吉井亨校閲
明治十六年刊 半紙本 原裝
色刷ニス引鉞物図入 保存良
二冊 二、四二〇円

一四三 満清紀事 江戸末期刊 木活字版
 白文 朱書入れ有 美濃判
 太平天国の乱 一冊 八八〇〇円



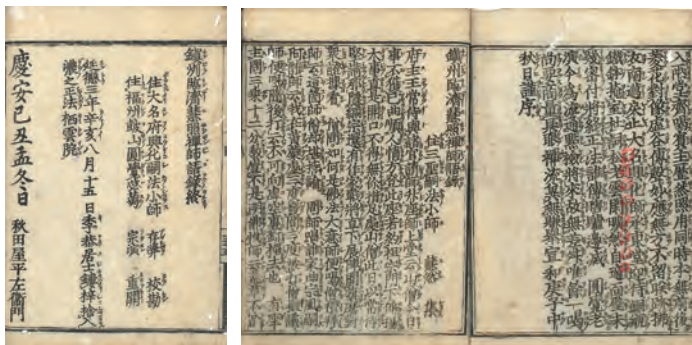
一四四 般若心経 内大臣(近衛)家久筆
 正徳頃写 紺紙金泥裝飾経 軸装
 函付 一幅 二七五〇〇円



一四五 仏説善悪因果経 江戸前期写
 正保三年心蓮社行營書写元奥書
 美濃判 一冊 一三、〇〇〇円



一四六 鎮州臨濟慧照禪師語録 力十附
 臨濟録 唐・義玄撰
 宋・慧然等編 慶安二年刊
 延徳三年元奥書 半紙本 原裝
 一冊 九六〇〇円



一四 遊仙窟 張文成著 慶安五年刊
 訓点附刻 美濃判 原裝
 一冊 五、〇〇円



遊仙窟
 寧州 慶安五年刊 裏裝 刷張
 文成作
 若夫積石山者 山海經曰積石山在金城
 水南 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中
 北龍門 關其 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中
 在于金城西南之西一說云 峽中 峽中 峽中
 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中
 龍門 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中 峽中

翁識讀之伊時 似為第一快書 蓮錦
 之後 蓮錦機抄寶志 珠異 右都 無其
 跡焉 後感書 數十大明神 為化現耳
 文保三年四月十四日 授中圓經
 慶安五年 文筆生 芙蓉
 慶安五旺藏孟春吉旦
 中野太良左衛門 開板

一六 舉本大字 古文真宝 後集 慶安四年刊
 諸條大宇 外題「新板古文真寶」
 美濃判 少書入 一部少虫食
 訓点附刻 原裝
 二冊 四、八〇〇円



舉本大字 諸條大宇 古文真寶卷之一
 辭類
 秋風 辭類 諸條大宇 古文真寶卷之一
 秋風 辭類 諸條大宇 古文真寶卷之一
 秋風 辭類 諸條大宇 古文真寶卷之一
 秋風 辭類 諸條大宇 古文真寶卷之一
 秋風 辭類 諸條大宇 古文真寶卷之一

右之本依有文字 并点錯乱而加
 按合改而刊之者也
 慶安辛卯孟春上旬
 書林豐興堂新梓刊

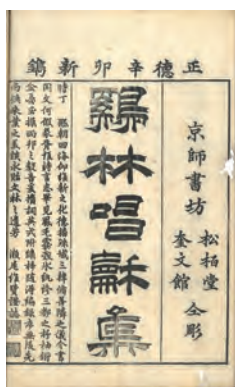
一四 問槎畸賞 漢詩文 山県周南等作
 秋本須溪輯 古孤山校
 正徳二年跋刊 美濃判 原裝上本
 正徳元年朝鮮通信使
 三冊 二、六〇〇円



問槎畸賞上
 頗齊 秋以正于師甫 輯
 孤山 古有鄰臣我甫 校
 正徳平治之文 高岩羅 藤
 東抄 其後人 題春 僅此 守 於 提 筆 李 序 形 製 述 亦
 李 項 掌 寺 記 濟 勢 術 蒙 慶 重 南 道 重 從 為 故 中

問槎畸賞二
 問槎畸賞三

一五 鷄林唱和集 漢詩文 瀬尾維賢編
 正徳二年五月刊 美濃判 原裝
 正徳元年朝鮮通信使 少虫食有
 一六冊 六、六〇〇円



鷄林唱和集卷之一
 京師書坊 松栢堂 全影
 委文館
 正徳二年五月刊 美濃判 原裝
 正徳元年朝鮮通信使 少虫食有

正徳壬辰辰五月
 出雲寺水原 湖尾 池共衛 合刻
 御書物所 唐本原清兵衛

和本

一校 伊勢物語図会

市岡猛彦校 岡田玉山画 三冊 五、〇〇〇
文政八年刊 美濃屋伊六等版
美濃判。元の薄水色表紙(疲れ傷み有)に元題簽「校」訂 伊勢物語圖會(破れ有)付。本文少染み、極僅か虫穴有。「常居文庫」(所用者不明)の旧蔵朱印有。写真版一頁参照

二大字 つれ、草

寛延四年刊 二冊 六、八〇〇
加賀屋清左衛門・大和屋伊兵衛版
美濃判。元の下絵入藍色表紙(擦れ疲れ有)中央に飾り枠入の元題簽「大字」新板(つれ、草(上)下)(下部少破れ)付。半丁に傷み(印刷時のものか)あるも本文の保存はほぼ良い。写真版一頁参照

三 う ら 嶋

奈良絵本 極彩色入 一冊 一、〇〇、〇〇〇
江戸前期作
本の大きさ一六・七×二三・八厘の横本。元と思われる金泥下絵入紺表紙(少擦れ傷み有)中央に金泥下絵入りの丹色書題簽「うら嶋」を付す。見返しは銀模様刷料紙。本文間合料紙、全十五丁。うち挿絵は片面六図、詞書は每半葉十三行以内。浦島が沖で一匹の亀を釣り上げるも不憫に思い逃がしてやった。次の日に漁に出ると漂流する小舟にひとりの美しい女房が乗っているのに出会う。竜宮城まで送り届けた浦島はそこで女房と夫婦となり幸せに暮らす。あつという間に三年が過ぎ、父母のいる故郷に帰るといふ浦島に女房は玉手箱を渡し決して開けるなと言ひ含め帰す。帰郷した浦島は、そこが七百年後の世の中であることを知って途方に暮れ、亀の形見の玉手箱を開けると老人になっていた。保存は自然な経年劣化、および一か所詞書に古い墨書き入れがあるもほぼ良好。渋川版『御伽草子』本文と内容ほぼ変わらなきが、挿絵に金泥入の美しい彩色を施した、江戸前期当時の奈良絵本のあるべき姿を完備した一本である。写真版一頁参照

四常 盤 木

仮名草子 藤井懶斎著 絵入 一冊 五、〇〇〇
享保頃刊 黒川家旧蔵
美濃判、後補包背装。表紙に「常盤木 全」「天和貞享／藤井懶斎著」と墨書。本文少虫食、上部欄外に少水染み有。武蔵国の孝女、松の伝記。表紙に「教育」の旧蔵丸朱印、本文初丁に「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「黒川真前蔵書」(黒川家)の旧蔵朱印有。写真版一頁参照

和本

五いろは醉故伝

振鷺亭著 白面か 寛政六年序刊 一冊 一三、〇〇〇
南総館梓 読本 中本
元の布目空押模様薄水色表紙に元題簽・元見返し付。作者の白面と思われる登場人物絵三丁入。内題「教訓いろは醉故伝」。末の「振鷺先生戯作目録」中に続編の予告あるも未刊。保存はほぼ良。写真版二頁参照

六富士三国一夜物語

読本 七卷八冊
曲亭馬琴著編 歌川国直・春斎英笑画
文化二年跋 天保十五年再刻 八冊 六、六〇〇
大嶋屋伝右工門・河内屋茂兵衛版
半紙本。元の藍刷格子模様入薄鼠色表紙に飾り枠刷入の元題簽「三国一夜物語壹(〜八)」完備。初冊巻頭に薄墨刷口絵二丁入。本文下部に少手擦れ有。最終丁裏に別刷紙片の刊記を貼付する(写真版参照)。因みに初版の文化三年版は五卷五冊で歌川豊国の画。再版にあたり七卷八冊、国直および英笑画となる。写真版二頁参照

七函嶺復讐談

感和亭鬼武者 蹄齋北馬画 文化五年刊 二冊 六、六〇〇
村田次郎兵衛・上総屋忠助版 読本
少手擦れ
中本。元の松皮菱紋空押柿色表紙に水色元題簽「函嶺復讐談 乾(坤)」付。坤冊の小口(綴じ側)に僅か馬食い、本文に少虫食。末十丁上部に薄い水染み有。写真版二頁参照

八通俗巫山夢

十返舎一九作 松高斎春亭画 五冊 一三、〇〇〇
文化十二年刊 西宮弥兵衛等版 読本
半紙本。元の薄藍色表紙に元題簽「通俗巫山夢(巻教)」(少擦れ)付。挿絵の一部に薄墨刷入。保存良。写真版二頁参照

九松風村雨物語

文東陣人著 前編国直・後編英泉画
前編文化十二年序刊 後編文政九年刊 一〇冊 六、八〇〇
連玉堂加賀屋源助等版 読本
前編五巻後編五巻揃 少後印
半紙本。前編五冊は元の藍色表紙(一部やや擦れ有)に元の藍刷枠入元題簽(擦れ破れ有)付。本文末に刊年はなく、刷やや甘い。一部に薄い水染み、下部少手擦れ、見返し紙及び挿絵の一部に少墨悪戯書き有。後編五冊は元の鶯色表紙(一部少虫食・擦れ有)に元の藍刷枠入元題簽(擦れ汚れ有)、藍刷元見返し付。最終丁に刊記ある早印本なるも本文一部に少虫食、薄い水染み、下部少手擦れ有。写真版三頁参照

和本

〇春情以呂波草紙

晝鐘成作并画 文政六年刊
河内屋平七等三都書肆版 読本 五冊 五八〇
淡彩色刷口絵・薄墨刷絵入

二浮世白壁草紙

東里山人著 岳亭春信画 文政七年刊
花月堂・帶屋安兵衛版 読本 六冊 五七、三〇〇
少手擦れ傷み有 揃

三重忠堀川清談初編

楚満人(為永春水)作 英泉画
文政九年刊 大坂屋忠兵衛等版
原裝二編の内 五冊 五八、八〇〇

三八宗釈迦実録

鈴亭谷職述 橋本玉蘭画
元林堂梓安政元年刊 青雲堂求版 五冊 一八、八〇〇
福田屋勝蔵等版 明治刷

四蒙賊記

石川真清編 安政五年刊 圓方軒蔵版 五冊 五五、〇〇〇
読本 虫食有

五忠勇阿佐倉日記

松亭金水作 玉蘭齋貞秀画
江戸後期刊 大和屋喜兵衛梓 一五冊 八四、七〇〇
初三編揃

六絵本孫子童観抄

中村経年編 玉蘭齋画 慶応元年刊
山城屋佐兵衛等版 読本 前巻七冊の
挿絵に薄墨刷入 一部に虫食有 一四冊 六、〇〇〇

七倡客竅学問

十返舎一九作・画 洒落本 一冊 七、五〇〇
享和二年自序刊

八商内神

十返舎一九作・画 洒落本 一冊 五八、〇〇〇
享和二年自序刊

九願懸注文帳

東西庵南北作 柳川重信画
文化十四年刊 西村与八・山崎平八版 一冊 一三、〇〇〇
滑稽本 保存良

〇秋夕奇観霧籬物語

南袖笑楚満人関 玉川亭調布作
淡彩刷口絵入
鶴屋金助・大黒屋源蔵版 人情本
外題「八重桜」前後編各三冊揃 六冊 一三、〇〇〇
中本。元の淡彩刷絵入表紙に元題簽「享情／美談 八重桜 前編(後編) 上(中・下)付(前編下の一枚欠有)。前編下巻末に刊記有。本文刷・保存ともばば良い。写真版五頁参照

三 小 阪東水滸伝 一名星月録

狂訓亭主人(為永春水編述) 松亭金水校 英泉・国安・泉晃・貞房画 文政十三年刊 平林庄五郎版 上刷 人情本 初輯三冊・第二輯三冊 六冊 八、〇〇〇

中本。初輯は元の黒表紙に薄黄色元題簽「小ノ説 阪東水滸傳 上(中・下)」、元見返し付、第二輯は表が白茶、裏が水色の元表紙に淡彩刷元題簽「小ノ説 阪東水滸傳 第二輯 上(中・下)」付。初輯三冊には発端および巻之一、二、三、第二輯三冊は扉題半丁(丁付「一ノ三」)より始まり、巻之四、五、六を収める。巻末の蔵版目録には「全十巻」とあるも以下は未刊であったものか。保存は概ね良い。写真版五頁参照

三 仮名文章娘節用

曲山人作 歌川国直画 天保年間刊 中屋徳兵衛版 人情本 九冊 一五、〇〇〇

三編揃。中本、元の色刷絵入表紙に元題簽完備。淡彩色刷口絵入。本文のど、欄外に少虫食あるほかは保存良い。本書は挿絵を国直画とした再版であるが、中々刷り良い。ほかに安政六年改刻改題版、明治十六年版が知られる。写真版五頁参照

三 春色梅美婦祢

為永春水著 国直画 人情本 全五巻 一五冊 六、三〇〇
色刷口絵入 江戸後期刊

「梅園英對の拾遺」と巻頭に云う。中本、元の色刷絵入表紙に紅刷下絵入元題簽付、見返し及び刊記はない。本文下部に僅か手擦れ、数冊に少虫食、水染み有。写真版五頁参照

三 鷺岡御富興行會我

山東鶏告作 政演画 天明六年刊 鶴屋版 黄表紙 原裝保存良 三冊 三〇、〇〇〇

中本。各巻黄色表紙に元の絵題簽完備。柱題「とみこうきやう」。写真版六頁参照

三 狂言末広栄

山東京伝作 歌麿画(天明八年刊) 萬屋版 黄表紙 三巻合本 一冊 一六、〇〇〇
色差し・墨悪戯有

黄色表紙付、元題簽欠。本文所々に朱の色差し、一箇所に墨悪戯書きあるも虫食はない。写真版六頁参照

三 流行歌川船合奏

はやりうたがわふねのつれびき 尾上梅幸作 花笠文京代作 国貞画 文政八年刊 丸屋甚八版 六巻揃 二冊 四、七〇〇

元の刷り付け表紙に少虫穴補修あるも本文の保存は良い。写真版六頁参照

三 牽牛織女願絲竹

曲亭馬琴著 歌川国貞画 文政十年刊 西村屋与八版 合巻 三冊 七、〇〇〇
六巻揃

中本。各冊元の刷り付け表紙に薄墨刷絵入元見返し付。上冊裏見返しに「大道図彙」(前北齋為二)の広告有。なお下冊末に刊記及出版目録はない。保存は良好。当時歌舞伎や浄瑠璃などでも上演された梶屋久右衛門(梶久)の物語を題材に使用した合巻本。写真版六頁参照

三 薄紫宇治曙

柳下亭種員・笠亭仙果著 豊国・国貞画 嘉永三ノ安政三年刊 山本平吉版 合巻 八編揃 一六冊 三、五〇〇

中本。刷り付け表紙(四冊薄く汚れ)、淡彩色刷絵入見返し、薄墨刷口絵入。本文僅か虫食あるも比較的刷の良し上本。写真版七頁参照

三 敵討噂古市

種清作 国貞画 安政四年刊 萬屋吉蔵版 三編十二巻揃 元袋一枚付 六冊 四、七〇〇

元の刷付表紙付。口絵及び挿絵の一部に薄墨刷入り。本文下部少手擦れあるほかは保存は良好。第三編の色刷元袋付。写真版七頁参照

三 いろは仮名黄金捺

桜田治助作 柳水亭種清編 歌川国貞画 安政五年刊 萬屋吉蔵梓 合巻 原裝上刷 色刷元袋付 三冊 五、二〇〇

中本。元の刷り付け表紙及び淡彩色刷元見返し付。下巻一冊に少虫食補修済み。安政四年江戸中村座初演。写真版七頁参照

三 御所奉公東日記初々十二編

万亭成賀作 芳虎画 安政ノ文久刊 山田屋庄二郎版 合巻 三冊 五、二〇〇

中本。全十三編の内。各編上下巻の刷り付け表紙を見開きで見えるよう改装して洪引き表紙で合本。初・二編安政五年版、三編同元年、四・六編同二、七編同三、八編同五、九編同六、十編万延元年、十一編同二年版。本文下部にやや手擦れ有。写真版八頁参照

三 新增補西国奇談初々十八

春水作 国貞・芳虎画 万延二ノ明治三年序刊 佐野屋喜兵衛・加賀屋吉兵衛版 二十編の内 二編每合本 少手擦れ有 九冊 四、七〇〇

中本。元の刷り付け表紙付。色刷元袋(一部少汚れ)を各編の表裏に添えて合綴。見返し・口絵に薄墨刷入。本文一部に手擦れによる少破れ、薄い水染み、二冊に虫食有。初・三編、五編から十四編文久二年刊、四編万延二年刊、十五・十七編文久三年刊。十八編のみ加賀屋吉兵衛版、明治三年序刊。刷り保存とも比較的良好。写真版八頁参照

和本

三 島田一郎梅雨日記

岡本起泉編 芳川春壽校 房種画
明治十二年刊 島鮮堂編島龜吉版
中本 五編各三卷揃 原装元袋付 美 五冊 五、〇〇〇

写真版八頁参照

三 新編伊香保土産初〜六編

松林伯四作 芳虎・国政画
明治十二年刊 作年序刊
松延堂梓 合巻 七編の内か
原装上刷 色刷元袋付 一冊 六、八〇〇

中本。元の刷り付け表紙に淡彩色刷絵人元見返し并口絵付。初〜三編芳虎、四〜六編国政画。第五編下巻裏見返しの版元目録に「八編大尾」とあるも現存が確認されているのは七編までと云う。第二編を除く各編に色刷絵入の元袋付。最終冊に薄い水彩みあるも保存はば良。数顆旧蔵朱印有。写真版八頁参照

三 万葉集

渡邊條による書入有 卷四欠 虫食多 一冊 一六、〇〇〇
江戸後期写

大本。白茶色表紙に一部題簽を残す。本文のテキストは寛永二十年安田十兵衛版（最終巻末に刊記の写し有）で、行間や欄外に他本との校合書入のほか、「本居氏云〜」及び「古事記伝」「玉勝間」、「契沖云〜」及び「万葉代匠記」、「真淵云〜」などの著名な国学者の説、橘守部「山彦珍子」や「和名類聚抄」等による語釈、ほか記紀から漢籍に至るまで多くの書物からの引用が細かな字で書入れられている。これらは、「渡邊蔵書」「渡邊條」の旧蔵印、本文への「條云〜」「條考〜」の書入れのあることにより、渡邊條なる人物によるものと思われる。虫食多く、惜しくも巻四の一冊を欠く。他に「神明宮」（所用者不明）、「徳本文庫」（徳本正俊か）の旧蔵印有。写真版九頁参照

三 古今和歌集一首撰

大森盛頼編 佐藤玄賢画 嘉永六年刊 一冊 五、八〇〇
岡村屋庄助等版 百三十人一首

美濃判。洪引きの替表紙中央に書題簽「古今和歌一首撰 全」付。序文五丁に続き、目録一丁、本文六十五丁、著者名及び刊記一丁よりなる。肖像入百三十人一首の本文は半葉につき一人一首、頭書部分に略歴を刻す。刷保存ともほば良。数顆旧蔵朱印のほか、「南三井家蔵書」の旧蔵ラベル有。写真版九頁参照

三 新古今和歌集聞書

東常縁講 細川幽齋補 少虫食有 四冊 二七、五〇〇
江戸中期刊

美濃判。元の藍色表紙（少虫食少傷み有）に元題簽「新古今和歌集抄 三（四）」（一及び二は剥落）付。一部欄外に僅か墨書入有。「築只館蔵」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版九頁参照

三 新撰六帖題和歌

藤原家良等詠 万治三年刊 六冊 三、〇〇〇
中野五郎左衛門版

美濃判。元の沙綾地紋牡丹唐草模様空刷藍色表紙（僅か虫穴）に「新撰六帖一（〜六）」の元題簽完備。本文一部に僅か虫食あるも刷・保存ともほば良。写真版九頁参照

三 和漢朗詠集

寛永十六年淳風坊（六条有純写） 一冊 三、〇〇〇

大きさと一三・七×九・八種。宝尽し紋の金襴表紙（僅か虫食）に金砂子散らし雲霞模様料紙の見返し付。外題なし。四つ目綴じで、角布は背一面におよぶ。本文每半葉八行書き、墨付百十五丁。一冊に上下二巻を書写する。漢詩に附訓有。末に、三条西実隆自筆本（大永五年の加点点入）を書写せしめた旨の菅和長（東坊城和長）元奥書、続いて「右呂奥書之本贖写焉尚恐／亥豕之僻而已／寛永十六季秋八月既望／淳風坊有純」の書写奥書を有する。末数丁ノドに少虫食あるはかは保存はば良。箱なし。写真版九頁参照

三 小倉百人一首かるた

読札・取札各百枚揃 絹本彩色 一組 一六、〇〇〇
塗箱入 江戸中後期筆并作

札の大きさと八・三×五・五種。絹本墨書、絵札には筆彩色を施し、絵字とも表に金箔砂子を散らす。帙の表は緞子、裏張りに筆彩色絵を施す。なお字札帙の底部分には「庭田大納言重熙」と書かれた紙片が貼付されており、作者もしくは所蔵者であろうか。字札の縁に少擦れ、箱紐に少傷みあるも保存概ね良い。写真版一〇頁参照

三 小倉百人一首かるた

読札・取札各百枚揃 塗箱入 一組 一三、〇〇〇
江戸後期頃作

札の大きさと八・三×五・五種。絵札はなく、上の句・下の句の字札各百枚と予備札各一枚。百体風の優美な墨書。表は金泥下絵、裏一面を薄い金泥にて塗る。帙の表は緞子、裏張りに筆彩色絵を施す。箱の足に少し欠けがあるはかは保存良い。写真版一〇頁参照

三 小倉百人一首かるた

読札・取札各百枚揃 塗箱入 一組 六、〇〇〇
江戸後期頃作

札の大きさと七・〇×四・七種。絵札の絵は木版下絵に彩色を施したもの。字札は墨書。絵字共に表に銀砂子を散らし、裏一面を薄い銀泥にて塗る。一部に少皺、僅か擦れ有。写真版一〇頁参照

三 時代不同歌合〔抄〕

天正十五年前拾遺黃門元奥書 一帖 九、〇〇〇
百人一首 小型本 江戸前期写

帖の大きさ一・八×八・八糎。金砂子散らし表紙（擦れ有）の左肩に銀箔散らし料紙の書題簽「時代不同哥合」付。見返しは翡翠色地に金砂子散らし及び繊細な金泥下絵の入った美しい料紙、本文は斐紙。内題はない。初撰本『時代不同歌合』より歌人一人につき一首ずつ計百首を選び、半葉につき一首を散らし書きにしたもの。末に「（前略）時代不同の哥合とかいひて後鳥羽上皇のかきつかはせ給し物を見て、三首つ、侍る哥の中をかたはしつ、かきいたせり（中略）時に天正十五年五月六日／前拾遺黃門 印刷」の元奥書がある。数丁ノドに僅か虫食あるも保存はよい。写真版一〇頁参照

四 拾錦袖中集

和歌選集 春部・夏部・秋部 一冊 五、〇〇〇
江戸初期頃写 『日本古典籍総合目録 データベース』未載

大きさ一〇×七・八糎の小型本。梅茶色表紙付、外題なし。本文斐楮交漉料紙保存はよい。每半葉十行書き。奥書はない。春部三十八丁、夏部三十九丁、秋部四十九丁よりなるが、一般的な歌集のように冬部・恋部・雑部など存在した可能性もあるか。『日本古典籍総合目録データベース』に記載なく、撰者不明。近代の塗箱入り。写真版一頁参照

五 〔歌題集〕

伝飛鳥井栄雅（雅親）筆 一冊 三、〇〇〇
〔室町時代〕写

大きさ一二・九×一〇・七糎の小型本。大和綴の金襴表紙、金紙見返し付。外題・内題とも無し。本文鳥の子料紙、每半葉九行書き。春・夏・秋・冬・四季・句題・百首・一首題それぞれにおける、十・十五・二十・三十・三十六・五十首題を列記した書。数丁ノドに少虫食あるはかは保存はよい。奥書はなく、巻頭遊び紙に付された古筆家の極札（表に「琴山」、裏に「辰八」の年記および「栄」の黒丸印あり、二代了栄か）には「飛鳥井殿栄雅」筆との鑑定書きがあり、当該書の本文は栄雅（雅親）の自筆と伝わる諸書と比するに類似した書風を有する。箱は付属しておらず、近代の四方映に納める。写真版一頁参照

六 類字名所和歌集

里村昌琢編 目録一卷共揃 七冊 五、八〇〇
寛永八年跋刊

大本。元の牡丹唐草模様空刷入り藍色表紙に元題簽「類字名所和詞集 一伊行（二知行・三与行・四羅行・五也行・六安行・七恵行）」完備。本文一部少虫食、一丁に少墨汚れ有。写真版一頁参照

七 〔繪鈔〕遊女五十人一首

安田蛙文撰 月岡丹下（雪雷）画 一冊 三、〇〇〇
宝曆三年刊 浪花屋忠五郎版 初版

翰士桂井蒼八、彫工藤村善右衛門。元の紺表紙（擦れ傷み有）中央に元の飾り枠付き刷題簽（擦れ有）、「繪鈔／注釈 遊女五十人一首」と刻す絵入元見返し付。本文小口に僅か傷み、数丁に僅か虫食あるも保存はよい。安田蛙文の自序二丁（半丁に所蔵墨書有）、半丁に一首を収めた上代以来の遊女の肖像入五十人一首二十五丁よりなる。月岡雪雷の画業初期の作のひとつ。文化元年再版本のあることが知られる。「丹青堂」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版一頁参照

八 白雄選句稿

呉水・可明・古謙等詠 加舎白雄添削 一冊 三、〇〇〇
天明四年成 花岡百樹旧蔵

半紙本。藍色表紙に書題簽「白雄選句稿 都久裳奥書」付。本文八十六丁、每半葉三首書き。各句に添削書入れや「累良質為撥」「〇」の点印がみられ、「春秋庵□（拜か）見（白雄印）の朱印有」の署名があることから、当該書は春秋庵加舎白雄が呉水、可明、古謙ら門人の句に添削を施したものとされる。末に都久裳坊（常世田長翠）の奥書（二顆落款有）一丁半、続いて「天明四年／辰ノ四月／緞月観」の墨書半丁入り。なお「百樹の」（花岡百樹）の旧蔵朱印及び表裏見返し紙に花岡による朱の書込みがあり、「此巻は謙古（ママ）等の俳稿に春秋庵白雄か天明四年閲覽して／書に添削引墨したるものにして 每章斧正を施して修辭を誨へ／批評を下して再考を促したる跡 歴然たるを見るべく如何に白／雄か後進を指導するに当りて懇切なりしかを知るに好適の資／料たるを失はざるなり（後略）」、「この句稿巻の筆者は都久毛（ママ）坊呉水なるべし」と記すほか、表見返しにある「贈 露香」兄 春秋庵白雄選蔵巻／ 霊冲生」の贈呈奥書についても考察を加えている。写真版二頁参照

九 〔高〕

館

幸若舞曲 筆彩色絵入 一冊 三、〇〇〇
江戸前期頃写

本の大きさ二五・五×一九・二糎。雲母刷模様入り黄土色表紙（汚れ、少傷み有）付、四つ目綴じ。外題・内題なし。本文墨付四十九丁、料紙には薄い雲母引きが施された斐楮交漉紙を用いている。幸若舞曲のうちの「義経物」のひとつで、奥州平泉の高館御所に逃げのびた源義経主従が追撃され滅びるまでを描く。ほぼ版本の転写本とみてよいと思われるが、上質な表紙と本文料紙、また挿絵は拙写であるが丹緑風の彩色を施すなど、丁寧に制作され大事にされた一本であることがうかがえる。少汚れ・染みフケ、数丁に僅か虫穴あり。写真版一頁参照

和本

五 謡曲画誌

中村三近子編 橘守国画 享保二十年
刊 文栄堂毛利田庄太郎版 一冊 一六、〇〇〇
少虫食有

謡曲五十番の挿絵入り概説書。半紙本。元の藍色表紙(少擦れ)に元題簽「謡曲畫誌 一(一十)」(少擦れ)および収録曲名(各冊五番)を刻した副題簽、魁星印および蔵版印ある元見返し付、なお刊記の書肆名にも蔵版印あり。本文少虫食、一部欄外に貸本屋印あるも刷り概ね良好。第九冊末に後編十冊の刊行予告あるも未刊。改題本に『謡訓蒙函会(享和二年刊)』のあることが知られる。写真版一二頁参照

五 (開)増梅愷樂

絵本番付 表紙欠 本文十丁 少染み 一冊 一六、〇〇〇
〔安永七年市村座〕刊

中本。オモテ・ウラ両表紙欠、表裏を後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。内題はないが柱に「市村座 一(一十了)」と刻され、又貼付された古い墨書の紙片に演目・座元・年号が記されている。本文十丁存、絵師名はないが似顔風で上手によるもの。余白には配役のほか筋書が刻される。同時代のものと思われる朱の色差し入り。虫食はないが裏打済み。写真版一二頁参照

三 江戸花三升曾我

絵本番付 桜田治助・中村重助作
北尾政美(鍬形蕙齋)画 表紙欠 一冊 三、八〇〇
〔天明三年中村座〕刊

中本。元表紙欠、後補模様刷表紙付。内題はないが柱題「江戸の花」あり。本文九丁存、但し表見返し半丁は他の絵本番附からの補配らしい。のちに鍬形蕙齋の名で知られる北尾政美の初期の作画。余白には配役のほか筋書が刻される。同時代のものと思われる色差し入り。一部少虫食有。写真版一三頁参照

三 (室)町桜舞台

絵本番付 笠縫専助・齋馬雪作
表紙欠 本文八丁 一部少破れ 一冊 三、八〇〇
〔天明五年中村座〕刊

中本。元表紙欠、内題・柱題ともになく、後補の雲母刷模様表紙に貼付された書題簽に「室町桜舞台 中村座」とある。本文八丁存、絵師名はないが似顔風で上手によるもの。余白には配役のほか筋書が刻される。虫食は数丁の上部欄外に僅かあるのみだが、オモテ及ウラ見返し各半丁下部に少破れがある。写真版一三頁参照

五 花入庵初會曾我

絵本番付 瀬川如阜・玉巻恵助作
裏打有 裏表紙欠 一冊 四、八〇〇
〔天明七年森田座〕刊

中本。元の絵入共紙表紙中央に座元の紋および「花入庵初會曾我 森田座」と刻す。ウラ表紙を欠くも表裏を後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め六丁、絵師名はないが似顔風で上手によるもの。同時代のものと思われる色差しがある。虫食はないが裏打済み。写真版一三頁参照

五 (雪)齋福曾我

絵本番付 元表紙及び首尾欠
〔天明七年桐座〕刊 一冊 八、八〇〇

中本。元表紙を欠くが表裏とも後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め五丁、絵師名はない。僅か虫穴・裏打有。写真版一三頁参照

五 傾城吾嬬鏡

絵本番付 桜田次助等作 裏表紙欠
〔天明八年中村座〕刊 一冊 三、二〇〇

中本。元の共紙表紙に「傾城吾嬬鏡 繪本」、及び桜田次助以下六名の狂言作者名を刻す。ウラ表紙を欠くも後補の雲母刷模様表紙(オモテ)及び曙色表紙(ウラ)にて覆つてある。本文は見返しを含め八丁、絵師名はない。余白には配役のほか筋書が刻される。二丁に僅か虫食有。写真版一三頁参照

五 春錦伊達染曾我

絵本番付 桜田治助作 裏表紙欠
裏打補修 〔寛政二年中村座〕刊 一冊 三、〇〇〇

中本。元の共紙表紙に「春錦伊達染曾我」はるのにしきだてぞめそが／中村座」と刻す。余白に「安永九／子春」と年号の墨書あるも誤りか。ウラ表紙を欠くも後補の模様刷表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め六丁、絵師名はない。余白には配役のほか筋書が刻される。少虫食があり裏打補修済み。写真版一四頁参照

五 昔々掌白猿

絵本番付 (瀬川如阜等)作
元表紙及び半丁欠 〔寛政四年市村座〕刊 一冊 三、二〇〇

中本。元表紙を欠くが表裏とも後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め五丁半、絵師名はない。少虫食・裏打有。写真版一三頁参照

五 初曙顔曾我

絵本番付 とよ丸画 裏表紙欠
少染み 〔寛政六年都座〕刊 一冊 三、五〇〇

中本。元の絵入共紙表紙中央に座元の紋および「初曙顔曾我 都座」と刻す。ウラ表紙を欠くも表裏を後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め七丁。僅か墨書入れ有。虫食はないが上部に少染み有。写真版一四頁参照

五 源平柱礎曆

絵本番付 並木五瓶等作 原裝
〔寛政七年桐座〕刊 一冊 三、五〇〇

中本。元の絵入共紙表紙付、オモテ表紙中央に座元の紋および「源平柱礎曆」げんへいはしらごよみ 桐座」ウラ表紙に数名の狂言作者名を刻す。表裏とも後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め五丁、絵師名はない。ノドに僅か虫食あるも丁寧な補修済みで、保存はば良。写真版一四頁参照

二 花櫛橘系図 絵本番付 金井由輔等作 原裝 一冊 三〇、八〇〇
〔寛政十年市村座〕刊

中本。元の絵入共紙表紙付、オモテ表紙中央に座元の紋および「花櫛橘系図」はなやぐらたちばなけいづ／市村座、ウラ表紙に数名の狂言作者名を刻す。表裏とも後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め六丁、絵師名はない。僅か虫食、反故紙による裏打有。写真版一四頁参照

三 婿 雪世界 絵本番付 近松門喬等作 原裝 一冊 三〇、八〇〇
〔寛政十一年市村座〕刊

中本。元の絵入共紙表紙付、オモテ表紙中央に座元の紋および「婿雪世界」うつくしきゆきのせかい／市村座、ウラ表紙に数名の狂言作者名を刻す。表裏とも後補の雲母刷模様表紙にて覆つてある。本文は見返しを含め五丁、絵師名はない。反故紙による裏打有。写真版一五頁参照

三 折たく柴の記 新井白石著 江戸後期写 三冊 三三、〇〇〇

美濃判。元の臘脂色表紙に書題簽（擦れ）付。僅か虫食あるのみで保存良い。「中井蔵書」「廣中氏」（所用者不明）等旧蔵朱印有。写真版一五頁参照

三 新板 嘉永武鑑 嘉永三年刊 須原屋茂兵衛蔵版 四冊 五三、八〇〇
改正 中本、元の藍色表紙に黄色元題簽付。本文の一部に少虫食有。写真版一五頁参照

三 十一箇国御固図 彩色刷入 一枚 五〇、六〇〇
諸元御固御役附明鑑 安政五年十月新刻

大きさ三七・七×九八・七釐。折目・継目部分に少虫食補修有。右辺欄外にある刊記は日米修好通商条約締結より数月を経た「安政五年十月新刻」とある。御固図の余白にはハリス及びヒュースケンと思われる肖像画あり。左半分は「諸元御固御役附明鑑」として京都御所司酒井若狭守より盗賊火付御改豊田藤之進まで約百九十人の名が載る。写真版一五頁参照

六 歴世女装考 岩瀬百樹（山東京山）編撰 京水画 四冊 三〇、〇〇〇
安政二年刊 山崎屋清七等版 原裝上本

美濃判。元の縹色表紙に「歴世女装考 春（夏・秋・冬）」の元題簽、砥粉色の元見返し完備。「若井文庫」（若井兼三郎）の旧蔵朱印有。写真版一六頁参照

三 恩地左近太郎聞書 兵法 恩地正俊 正保二年開板 太平記評判秘伝理辰抄の内 一冊 三〇、八〇〇
黒川家旧蔵 少後印

美濃判。元の藍色表紙（少傷み）に書名を朱書。本文漢字かな交じり文、数丁に折目切れあるも虫食はない。表紙に「教育」の旧蔵丸朱印、本文初丁に「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「黒川真前蔵書」（黒川家）の旧蔵朱印有。写真版一六頁参照

六 浜遊百金方摘要 清・惠麓酒民編 日本・沢畔醒士訳 四冊 三三、〇〇〇
嘉永六年自序刊 兵法 木活字版
絵入 元映付

美濃判。元の藍色表紙に元題簽「浜遊百金方摘要 一（二・三・四）」及び元見返し完備。本文四周半辺、有界。每半葉十行、一行二十字。一部にルビ付き活字を用いる。木版図多数入り。保存は良好。「芳閣堂」（所用者不明）の旧蔵朱印有。梅茶色地に見返し紙と同版の紙片を貼付した元の紙帙付。写真版一六頁参照

六 下学集 元和三年刊 三冊 三三、〇〇〇

本の大きさ二八・六×二〇・二釐。元と思われる古い栗皮表紙（下巻オモテ表紙少傷み有）、外題なし。本文数丁に少墨染み有。下巻終丁第七行の刊記をみるに本書は古辞書叢刊二「元和三年板下学集解説」（山田忠雄）におけるC本系統に属する本と思われる。写真版一六頁参照

古 今妖魅考 平田篤胤著 堀家政富等校 三冊 一六、五〇〇
天保二年刊 氣吹舎塾蔵版

美濃判。元の水色表紙に元題簽「古今妖魅考 一（二・三）」、魁星印ある元見返し（元袋を切り抜き貼付したものか）付。本文保存良好。最終巻末の「伊吹能舎先生著撰書目」内には「古今妖魅考 五巻 刻成／此書は。古今の記録物語書等を探りて。謂ゆる天狗妖魅の種々に世を乱し。或は地獄極楽など云ふを現して人を惑はし。或は異験をも見せて。人に信を起さしむる有趣などを説き。且その物等に。三熱の苦みと云ふ事の有る因縁までを。具に論じ徴されたる書なり。」と載るも、出版は三巻までで了つたようである。写真版一六頁参照

七 訂地球万国方図 木版彩色刷 一冊 一〇、〇〇〇
嘉永六年初春刊

大きさ七九・三×一二六・二釐。元の空押模様入り黄色表紙（フチ少擦れ有）中央に元題簽「新訂地球万国方圖」付。図に経緯線入り。左下に凡例、年記、「東半球」、「西半球」、「以北極為心圖」、「以南極為心圖」あり。僅かな擦れ穴あるも保存は良好。写真版一七頁参照

三 海外人物輯

永田南溪編 一光斎(歌川芳盛)画 二冊 一四、〇〇〇
嘉永七年序刊 彩色刷入 少虫食有
美濃判。元の渋引き表紙に元題簽「海外人物輯 上(下)」(下部少破れ有)付。
「笹田」(所用者不明)の旧蔵朱印有。写真版一八頁参照

三 日本山海名産図会

薮關月画 寛政十一年刊 五冊 三三、〇〇〇
遷喬堂梓 塩屋長兵衛版
美濃判、海山の空押模様がある元の空押模様青表紙に黄色元題簽(初巻のみ少破れ)付。版元名塩屋の下に朱印がある。数丁欄外に少虫食あるほかは保存はば良。写真版一八頁参照

四 国郡全図

青生東谿著 色刷 二冊 六、八〇〇
文政十一年新彫發兌
美濃判。緑色緞子表紙に元題簽(少擦れ)、紅色元見返し(少擦れ)付。本文欄外に領主と石高を墨書する。下冊に薄い水染み、僅か虫穴あるも、刷、保存はば良。写真版一八頁参照

五 北程十二ヶ国内図絵

木版墨刷 江戸後期刊 一冊 二四、二〇〇
図の大きさ約三〇×四〇糎。表紙なし。陸奥・陸中・陸前・羽前・羽後・磐城・岩代・常陸・上野・越中・越後・佐渡の十二か国。図の上を西、下を東に据えた地図で、郡、城、陣屋、港などを記すほか、海路を実線で表し距離を記す。図の下部に江戸から各地への里程表あり。保存はば良。写真版一七頁参照

六 東海道名所図会

秋里籬島編 北尾政美等画 六冊 一三、〇〇〇
寛政九年刊 前川六左衛門等版 原裝
美濃判。元の薄水色表紙に薄黄色元題簽「東海道名所圖會(巻数)」完備。初冊に版元印のある藍刷(褪色)の元見返し(少墨染み)。また終冊裏見返しに「製本所/東都書肆 崇文堂/日本橋南三町目/前川六左衛門(版元印あり)」の刊記有。本文一部ノドに少虫食、一冊に少染みあるがいずれもほぼ欄外にとどまる。写真版一八頁参照

七 (東叡山寛永寺図)

筆彩色入 江戸中後期写 一冊 三、〇〇〇
大きき六八・八×六二・八糎。表紙はない。図中、子院名及び所有大名を紙片貼付により訂正した箇所有。写真版一七頁参照

八 江戸方角名所杖

又玄斎南可撰 立祥(二代玄重)画 二冊 四、〇〇〇
慶応二年刊 大和屋喜兵衛等版
初・二編揃 色刷口絵入
中本。元の空押模様青磁色表紙に元題簽「江戸方角名所杖 初編 全」(二編剥落)、紅色絵入元見返し付。二編に一部虫食有。写真版一八頁参照

九 海岸守備図

彩色刷 美 一冊 一三、〇〇〇
嘉永七年頃刊
大きき約三七・五×六四・五糎。元の沙綾紋空押水色表紙に元題簽「海岸守備圖」付。僅かな虫穴あるも刷保存共良い美図。刊年はないが図中に第一〜三台場が描かれており、完成年の嘉永七年頃刊行されたものであろう。写真版一九頁参照

〇 (横浜外国人居留地番地図)

増田万吉 淡彩刷入 二冊 三〇、〇〇〇
明治四年刊
堀川を境とした所謂「山手居留地」と「山下居留地」の番地図二冊。表紙および内題なし。山手図は六一・三×八五糎、上部に「明治四年辛未外國人休日附」の表、下部に「Manda Manichikior/The head of Fireman」の文字を刻す。山下図は四七・八×六四・二糎、刊年を示す記載はない。二図ともに図の上を南とし、道を薄黄、川を水色に刷る。番地は漢数字と英数字の併記。下部に「横濱石川口/商組頭取/増田万吉」禁賣買の文字を刻す。僅か虫食有。写真版一九頁参照

一 改横浜案内図

五葉舎図 明治十年前後刊か 一冊 六、〇〇〇
佐野屋富五郎版 木版彩色刷
三〇・七×四〇・五糎。表紙なし。太田屋新田の東部地区が居留地として記載されていることから、明治七年の埋立完成より同十二年に新居留地として分譲されるまでの期間に刊行されたものか。刷・保存とも良好。写真版一九頁参照

二 (駿河国全図)

(松嶋堂主人)作 木版筆彩色 一冊 一五、〇〇〇
文政十年跋刊
六四×一三六・三糎。臙脂色表紙中央に書題簽「駿河国全圖」付、裏表紙はない。内題なし。木版墨刷図に彩色が施され(うち道は朱色、川を藍色の線で表す)、鮑波社より桃沢社までの二十二社、清水寺より観音寺までの三十三寺を図中に刻す。図の東側に「賣買不許」の文字及び「文政丁亥仲冬日駿州葭原驛松嶋堂主人誌」とある跋文を有する。僅か虫穴、薄い裏打(一部剥がれ)もある。保存はば良。写真版二〇頁参照

三 近江国蒲生郡安土古城図

筆彩色入 一冊 三、五〇〇
貞享四年成立 江戸中後期写
大きき約一三〇×一一一糎。表紙はない。上部欄外に「近江國蒲生郡安土古城圖/貞享丁卯年仲秋作之」云々の元奥書有。写真版二〇頁参照

近江国細見図

山下重政作 寛保二年刊
村上伊兵衛・大津屋嘉兵衛版
外題「近江国大総図」木版筆彩色

一舗 一〇、〇〇〇

八二・八×一三七・七糶。元の紺表紙(少擦れ)中央に元題簽「近江國大繪圖全」付。丹・緑・黄の筆彩色を施す。図の下部余白に「大津より諸方への道法」「領主御名附」「名所旧跡」「名物土産」の記載有。僅か虫穴あるも刷保存ともほほ良。写真版二〇頁参照

関ヶ原布陣図

江戸中後期写 筆彩色入

一舗 三、〇〇〇

大きさ約一〇〇×一二四糶。表紙はない。慶長五年九月の関ヶ原合戦に於ける武將の配置を示した簡略な絵地図。下部余白に「此図山川村落至此所詳考/方角附之諸將陣當者因/書面并舊圖赤坂古傳記之/笠木村迫合者関ヶ原誌記書之」の墨書有。写真版二二頁参照

承徳浪速古図

文政六年写 筆彩色入 折目補修有

一舗 四、二〇〇

大きさ約一〇五×一三四糶。表紙はない。下部欄外に「人皇七十三代堀川院御宇/承徳二年戊寅正月中潮日/圖之/今文政六癸未年春寫之/從承徳二年至文政六年/歷テ(年数部分空欄)矣」の奥書有。折目に少傷みがあり補修済み。写真版二二頁参照

琉球人來朝行列図

嘉永三年刊 御免版元播磨屋長兵衛
衛・亮弘伊丹屋善兵衛
一部少虫食有 二枚統

一組 二〇、〇〇〇

本紙の大きさは各三五・八×四八・七糶。嘉永三年尚泰王の即位を感謝して派遣された謝恩使の様子を描いた刷物。行列の中ほどに正使玉川王子、副使野村親方が描かれ、末に慶安二年以来の來朝之次第を記す。尚泰王は琉球王国最後の王で、使節団もこの年が最後となった。図の一部に少虫食があり裏打補修を施す。写真版二二頁参照

鳥獸人物戯面模本

住吉家旧蔵模本の写し 田安家旧蔵
天保十二年写 紙本墨書

一卷 三六、〇〇〇

紙高三〇糶。朽木雲模様藍刷入り表紙に書題簽「鳥羽僧正覺猷草画 猿 狐 兎/鹿 蛙、及びその下に「住吉家蔵/五卷の内」と墨書がある。本文は少し巻皺があるも保存ほほ良。住吉家に伝來した『鳥獸人物戯画』の模本(全五卷、梅澤記念館に現存)のうちの第五卷、高山寺現存の四分以外以外の「兎猿遊戯中卷」と呼びならわされてきた一巻を写したものと恐れ、巻末に天保十二年の書写奥書を有する。表紙には「猷英樓圖書記」の旧蔵黒印があり、田安家の旧蔵と知れる。写真版二二頁参照

後三年合戦絵巻 中模本

〔巨勢惟久画〕江戸後期頃写
筆彩色入 有欠 函付

一卷 七、〇〇〇

東京国立博物館に現存する貞和三年作の一本(三卷存、重要文化財)の、中巻のみの模本と思われる。紙高四二・八糶、薄葉料紙。巻頭の二紙(但し二紙の内か)を除き詞書を省いた絵のみの写しで、彩色を施すかたわら所々に色の指示書きが小さくカナで記される。表紙、及び奥書等はない。虫食はなく保存は良好。写真版二二頁参照

日本道中絵図

江戸より長崎まで道中絵巻 紙本彩色
江戸前期写

一卷 一、〇〇、〇〇〇

紙高三五・七糶。古い金泥下絵入の紺表紙(補修有)に金箔散らしの見返し紙付き。外題なく、付属する昭和四十一年度三都古典連合会大入札会落札控用紙の記載より仮に名づく。江戸より大坂までを陸路、大坂から長崎・五島までを船路で描いた道中絵巻。駅名・地名・島名、城(城主や奉行の名なし)、神社、茶屋などの名所や瀬戸、旅人及び船、駅間の里程の記載あり。巻末の遊び紙に本文とは別筆で「寛永拾五歳」とある紙片を貼付するも、それより少し後の作と思われる。無款ながら彩色を用いて丁寧な描かれており、古色を帯びるも虫食はなく、保存ほほ良。写真版二三頁参照

隅田川兩岸一覽西

沢田東江撰 鶴岡蘆水画
東西二卷の内 筆彩色入
〔天明元年跋〕刊

一卷 六〇、〇〇〇

紙高二五・五糶。鼠色の替表紙に金銀砂子散らしの見返し紙付、外題はない。隅田川の東岸、西岸各々の風景を絵巻物に仕立て刊行された二巻本の内の一巻で、本書はそのうちの西岸、橋場の真崎稲荷から浅草寺、駒形堂、新大橋を過ぎ高輪辺に至る下りを描く。桜、花火、紅葉など四季の変化も描き込まれており、全巻に美しい筆彩色を施す。少し巻皺があるも刷、保存ともに良好。惜しくも巻末の天明元年東江跋文を欠く。写真版二二頁参照

神通神画譜

合川珉和画 吉田屋新兵衛等版
文政二年刊 原裝上刷

一冊 五、〇〇〇

美濃判。元の黄色表紙に元題簽・絵入元見返し付。本文下部に僅か手擦れあるが保存ほほ良。刊記に版元吉田屋の朱印を捺し、河村文鳳画一程湖勝景一覽二冊)及び本書二編一冊の文徴堂吉田屋の出版広告一紙を貼付するが、両書とも未刊であろう。写真版二三頁参照

三 繪本ふちはかま

絳山樵夫撰 柳川重山(二代重信)画
文政六年序刊 角丸屋甚助・徳三郎發 二冊 一〇、〇〇〇
免 彩色刷絵入 原裝上刷

半紙本。元の空押模様入白茶色表紙に下絵刷入の元題簽「繪本ふちはかまみ(しも)」付。上之巻は序目一丁、本文十五丁。下之巻は本文二十二丁半、絳山編重山画出版本(「ふちはかま後編二冊」の予告あり)の目録を含む刊記半丁、角丸屋甚助の藏版目録四丁よりなる。本書は刊記にも「田中正造浄写/宮田吉哉彫刻」とある初版。惜しくも薄い水染みがあるが刷の良い上本。この文政六年序刊本を天保七年に求版刊行した本のあることが知られる。
写真版二二頁参照

四 万職 函考三編

葛飾北齋画 天保六年序刊 郡玉堂梓 一冊 三、〇〇〇
彩色刷入 少水染み有

半紙本。元の曙色表紙(疲れ傷み有)に紅刷元題簽(褪色、ペンによるなぞり書き・押印あり)、墨刷絵入元見返し付。「山本家藏」(所用者不明)の旧蔵朱印有。写真版二四頁参照

五 秀雅百人一首

緑亭川柳輯 北齋等画 弘化五年刊 一冊 二五、〇〇〇
山口屋藤兵衛等版 淡彩色刷口絵入 少虫食有

中本、元の空押模様鼠色表紙に元題簽(少擦れ)、黄色元見返し付。画工は北齋のほか、国芳・重信・英泉・豊国。少虫食あるも刷は良い。
写真版二四頁参照

六 繪本江戸土産初編

一立齋広重画 嘉永三年序刊 一冊 四、五〇〇
菊屋幸三郎等版 淡彩色刷

中本。元の沙綾形紋の空刷入り白茶色表紙(一部少擦れ)に紅色元題簽「繪本江戸土産(巻数部分破れ)」、淡彩刷絵入元見返し付。裏見返しは三都版元名一覽。本文刷り・保存共は優良。写真版二四頁参照

七 永濯 漫画初編

鮮齋永濯画 明治十八年刊 一冊 三、〇〇〇
松崎半造版 淡彩色刷 上本

中本。元の空刷模様入群青色表紙(蔵書票貼付有)に元題簽、黄色元見返し付。刊記部分に版元印有。本文刷、保存共良い上本。写真版二四頁参照

八 一掃百態

渡辺峯山画 明治十二年刊 一冊 三、〇〇〇
全樂堂藏版 淡彩色刷 上刷

美濃判より一回り大きい大本。元の香色絹表紙(少擦れ)、紅色元見返し(角少破れ)付。出版人渡邊譜(朱印)。環屋正兵衛等の四書肆版。刊年の下に「定價金壹圓」の朱印有。本文一部僅か虫食有。写真版二五頁参照

九 蒸気火輪船之図

幕末刊 瓦版 保存良 一枚 四、二〇〇

四一・九×三一・四種。右上部に「北亞墨利加大合衆国人物真像ノ圖」あり。図中の詞書には嘉永六年六月のペリー来航についての記事があり、そのころの刊行であろう。写真版二五頁参照

一〇 万物出勢寿双六

一筆庵英泉画 嘉永頃刊 一枚 一三、〇〇〇
えひすや仁兵衛版 約六三×四三種 元袋付 刷良 保存並

一一 笑福々寿古六

芳幾画 安政六年刊 木屋宗治郎版 一枚 一四、五〇〇
六一・五×七一種 元袋付 少虫食補修有

一二 踊形客振分寿古録

一齋齋国周画 文久二年刊 小泉版 一枚 一六、五〇〇
約六〇×七二種 袋なし 刷・保存並

一三 新大当役者双六

芳盛画 文久三年刊 森本順三郎版 一枚 四、〇〇〇
約七二×五一種 袋なし 少虫食有

一四 調練仕方出世寿語録

一柳齋国孝画 慶応二年刊 一枚 七、五〇〇
大黒屋金三郎版 木版彩色刷 裏打有
大きざ四八・六×七一・三種。裏打済みだが虫食はない。最初の一マスは「のほり(を担ぐ兵)」、上りのマスは幕府軍の行進。写真版二七頁参照

一五 憲法発布大典寿語六

年昌画 明治二十二年刊 一枚 六、八〇〇
佐々木豊吉版 約七九×四九種 元袋付 刷・保存良

一六 万字屋内八ツ橋

香蝶楼国貞画 天保頃刊 一枚 一六、五〇〇
下部僅か汚れ有 大判

一七 鬼神於松

豊国画 文久二年刊 平野屋新藏版 一枚 一七、五〇〇
岩井衆三郎 刷・保存良 大判

写真版二七頁参照

一〇 異種蓄髪 写真お若
犯妻会 写真版二七頁参照
国周画 明治十二年刊
福田熊治郎版 岩井半四郎 大判
刷・保存良 新編伊香保土産

二九 和田合戦之図
写真版二八頁参照
芳虎画 弘化 嘉永刊
和泉屋市兵衛版 大判三枚続
綴じ穴跡有

二〇 天目山勝頼討死ノ図
写真版二八頁参照
国綱画 弘化 嘉永刊 下谷相卜版
大判三枚続 刷・保存良

二一 治承四年八月石橋山大合戦
写真版二八頁参照
芳員画 嘉永六年刊
和泉屋清七版 大判三枚続
少トリミング 綴じ穴跡有

二三 伊勢の海士長鮑制ノ図
写真版二八頁参照
三代豊国画 万延元年刊
加賀屋吉右衛門版 大判三枚続
一部少汚れ・一箇所小穴有

二四 御座敷狂言こしらゑの図 五番続
四代目坂東三津五郎と養子の三代襄助（のちの森田又三郎）父子は天保九年に旅芝居に出たが、当該図はその折の楽屋の情景を描いたものと思われる。
写真版二九頁参照
豊国画 安政四年刊
太田屋多吉版 大判三枚続
刷・保存良

二五 江戸紫首尾ノ松
写真版二九頁参照
豊国画 安政四年刊
太田屋多吉版 大判三枚続
刷・保存良

二六 近世組 定重次
写真版二九頁参照
仮名垣魯文暗記 三代豊国画
文久二年刊 伊勢屋兼吉版 大判
市川團十郎 刷・保存良

二七 近世篠崎の政吉
写真版二九頁参照
仮名垣魯文暗記 三代豊国画
文久二年刊 伊勢屋兼吉版 大判
坂東彦三郎 トリミング

和本

二七 浄瑠璃花暦色浮男
梅蝶楼貞国画 文久三年刊
海老屋林之助版 大判三枚続
関三十郎・河原崎権十郎・市川新車・坂東彦三郎・澤村田之助・市川八百蔵。
文久三年三月中村座上演（実際の演題は「花暦三題断」と云う）。小綴穴跡あるも補修済み。写真版二九頁参照

二八 〔百衛魁曾我〕
国周画 元治二（慶応元）年正月刊
井筒屋版 大判三枚続 刷・保存良
中村芝翫・中村福助・沢村田之助。江戸・守田座興行。加賀騒動を題材にしたいわゆる「鏡山物」で、本作は中でも著名な「草履打」の場を描いたもの。
写真版三〇頁参照

二九 新洞新洞小治郎
水語伝 写真版二九頁参照
国周画 慶応元年刊
佐野屋富五郎版 中村芝翫
刷・保存良

三〇 当世日の出ぞろい
沢村田之助・中村芝翫・市村家橘 写真版三〇頁参照
芳幾画 慶応三年正月刊 万善版
大判三枚続 僅か虫穴補修

三二 似面鏡
香蝶楼豊国画 嘉永四年刊
辻屋安兵衛版 中判十枚綴
一枚の大きさ二四・九×一七・五種、二面鏡に見立て、一つの演目につき左右

二役の役者似顔を配する。画題の内訳は「○石川五右衛門・女房おたき」「○飾間宅兵衛・こしもとおかる」「○丹波屋鬼蔵・亀屋忠兵衛」「○小栗兼氏・萬屋の娘おこま」「○長者娘梅が枝・佐々木源之助」「○曾我十郎祐成・曾我五郎時政」「○所作事・水うり」「○ふじの方・次郎の君」「○斎藤太郎左衛門・右馬頭妻花その」「○夏目四郎三郎・微塵おまつ」、薄い裏打を加え帖仕立てとする。表紙にあたるものはない。当時、役者名の入らない役者絵は店先で「吊るし売り」をしないという条件下でのみ刊行が認められていたため、当該品の⑤・⑥・⑦の三枚には「シタ賣」（下に平置きにして売ること）の印が刻されている。名主印は「福・村松」「米良・渡邊」「村田・衣笠」「濱・馬込」の四種が認められ、かつ嘉永四年中の江戸上演目にあてはまることから、刊行も同時期のものかと推定される。中折れ跡、四枚の上部に僅かな虫食あるも、刷・保存ともほぼ良好。写真版三〇頁参照

和本

三 謎合名所百景

立齋重政(三代広重)模写 人形町具足屋版。縮刷二枚。同 一帖 三三、〇〇〇
目録二枚 帖仕立て

大きさ一五・五×一・七種。流引き模様布目表紙に金箔散らし題簽(「西村所藏」(所用者不明)の朱印有)。付。初代広重の『名所江戸百景』を原画とし、絵に因んだ謎かけを加えたもの。高輪牛町・金杉橋・吉原の東雲・三川しま・堀切・利根川・柳しま・あつまの森・十二そう・井の頭・赤坂桐畑・芝の藪小路・今戸の畑・真さき辺より見渡す景色・王子ふどうの滝・滝の川の紅葉・万年はし・両国の角力・永代の白魚船・佃の住よしの二十枚ならびに目録二枚。縮刷で、二枚分を一紙に刷り、帖に仕立てている(計十折)。保存良い。

写真版三〇頁参照

三 女中道しるべ

正徳二年跋刊 小河多左衛門版 絵入 五冊 一五、〇〇〇
美濃判二つ切りの横本。元の藍色表紙(疲れ、一部少傷み)に元題簽(擦れ傷み、巻一のみ後補書題簽を付す)。本文二か所に押印、少虫食補修済み。なお二・三・五巻のみを抽出した改題本『女日用大全』(寛政八年刊)のあることが知られる。写真版三二頁参照

三 女要訓和歌文庫

桃江舎漁舟撰 長谷川光信画 往來物 一冊 七、五〇〇
寛保三年刊 河内屋八三郎版 原裝上刷
美濃判。元の藍色表紙に水色元題簽「女要訓和歌文庫 男女重法」/万用大成全」(「おんなようくんわかぶんこ」の振り仮名付)、黄土色副題簽(擦れのため判読不可)、版元印入の藍刷(褪色)元見返し付。本文少虫食、絵の一部に色挿しもあるも刷り良い。写真版三二頁参照

三 曹大家女誠和解

宮川正毅(堀田豊前守)著 一冊 六、六〇〇
文化九年跋刊 鼓文堂藏版 教訓
黒川家旧蔵 少染み有
美濃判。元の空刷模様入り翡翠色表紙(「教育」の朱丸印有)に元題簽「曹大家女誠和解 全」付。松平貞信の序文二丁半入り。本文一部僅か虫食有。巻末に「鼓文堂藏版」の版元印、巻頭に「黒川真前蔵書」「黒川真道蔵書」(黒川家)の旧蔵朱印有。写真版三二頁参照

三 画十二月用文章

浸墨軒輝山書 一柳亭国房画 一冊 一六、五〇〇
元治元年頃刊 衆芳堂梓 大和屋作次郎等版 保存良
中本。元の空押模様入り水色表紙に黄色元題簽「畫」/本 十二月用文章 全、元見返し付。目録六丁、「年始之文」より「喧嘩扱之文」までを取めた本文九十九丁よりなる。本文上部には各文に因んだ挿絵入り。巻末に「神応痢病薬」の広告入。「信州/上田/柳町/石森」(森田屋石森治三郎か)の旧蔵黒印および裏表紙に「信州上田/石森治三郎主」の旧蔵墨書がある。写真版三二頁参照

三 本朝三字経余師

(橋爪貫一注) 明治四年刊 文苑閣鈴木(播磨屋)喜右衛門版 一冊 四、〇〇〇
元袋付 保存良

中本。元の白茶色表紙に元題簽「本朝三字経余師 全」、元見返し付。「石森氏蔵書印」(森田屋石森治三郎か)の旧蔵朱印有。「日本橋十軒店 鈴木喜右衛門板」と刻す元袋付。写真版三二頁参照

三 世界節用無尽蔵

横尾謙七著 松川半山画 一冊 四、五〇〇
明治六年刊 吉岡平助出版 色刷口絵入 原裝上本

半紙本、厚冊。元の黄色表紙に紅色元題簽付。巻頭に色刷の序及び口絵七丁入。刷・保存良い。写真版三二頁参照

三 毛詩品物図攷

岡元鳳纂輯 挹芳齋国雄画 三冊 六、五〇〇
天明五年刊 北村四郎兵衛等版 本草 七卷

二七×一八種、僅かに縦長の美濃判。元の薄藍色表紙に元題簽(少擦れ)、元見返し付。本文刷・保存ともほほ良い。写真版三二頁参照

三 勸農二物考

高野長英著 内田思敬(五観)記 一冊 六、〇〇〇
華山画 大観堂藏版 天保七年新鐫 和泉屋吉兵衛版 救荒書

半紙本。元の鳩羽鼠色表紙に元題簽「二物考 全」、元見返し付。紀藩白鶴義齋藤通序三丁、題言四丁、本文十四丁半、内田弥太郎(五観)附言二丁半よりなる。裏見返しに和泉屋吉兵衛による「瑞臯高野先生著述目録」半丁を付す。備荒作物となる馬鈴薯と早蕎麦の栽培法・調理法等を記したもので、本書は天保七年に刊行された初版。本文少虫食、「五十嵐蔵書」(所用者不明)の旧蔵朱印有。写真版三二頁参照

三 勸農二物考

高野長英著 内田思敬(五観)記 一冊 五、〇〇〇
華山画 明治十六年翻刻 群馬県勸業 課蔵版 救荒書 銅版刷絵入

美濃判。元の露草色表紙に元題簽「二物考 全」、紅色元見返し付。末に「明治十六年四月十七日翻刻届済」と刻すとおり、本書は前掲天保七年初版の内容に群馬県令撮取素彦序二丁を新たに巻頭に加え、華山画の馬鈴薯図一丁も銅版に改め翻刻したもの。ノドに少虫食あるが本文には殆どかからない。写真版三二頁参照

三三三 物考

尼子佐々木・高野長英著(華山) 画
明治十五年刊 興農書院編并刊
救荒書 草薺考及び二物考 活版 一冊 三、〇〇〇

半紙本。元の藍色表紙に元題簽「三物考 全」付。尼子佐々木著『草薺考』六丁半、高野長英著『二物考』十二丁半よりなる。跋文に「草薺考ハ出石司民局の藩内に下付せる者にて世に傳ふる稀也二物考ハ街ノ鬻を許さず故に人之を知る少なし因て今之を合刊し題して三物考と名く」と云う。裏見返しに刊記貼付あり。保存良。写真版三二頁参照

三三三 農業花暦

河野禎造著 倉敷小塩舎・黒金舎藏梓
明治三年刊 村上勘兵衛版 折本 一帖 八、五〇〇

大きさ二六・〇×一〇・五釐。元の紺表紙(薄い木皮に紺紙を貼付)に元題簽「農業花暦 單」、藏版印入元見返し付。写真版三三頁参照

三三三 養蚕新論

田島弥平(邦寧)著 明治五年刊
出雲寺萬次郎等版 五卷及付録共揃 二冊 五、八〇〇
色刷絵入 原裝上本

半紙本。元の空刷模様入り鈍色表紙に元題簽、藏版印ある黄色元見返し付。刷・保存とも良い。刊記に予告ある続編は七年後の明治十二年の刊行。写真版三三頁参照

三三三 京白粉商標・包紙貼込帖

木版彩色刷 約二百七十枚
江戸後期、明治初期 一帖 三、〇〇〇

帖の大きさ二八・五×二〇釐。京麩屋町松原下町の釜元木田千賀磨(藤原政方)の白粉(洗い粉・紅を含む)の、美しい彩色刷を施した商標・包紙。大きき品名様々約二百七十枚を貼り込む。少手擦れ、僅かな水染み・傷みがあるが、これほどのコレクションは稀であり、当時の化粧風俗研究に資すると思われる。「華舟文庫」(鴎外の末弟森潤三郎)の旧蔵朱印有。写真版三三頁参照

三三三 西洋時辰儀定刻活測

小川友忠撰 鈴木光尚校 安政四年刊
佐倉・鈴木源太藏梓 朱刷入 折帖 一帖 三、五〇〇
図入

帖の大きさ二〇・一×八・三釐。元の空押模様入り渋引き表紙(僅か擦れ)中央に黄色元題簽、藍刷元見返し付。本文刷・保存ともほぼ良。写真版三三頁参照

三三三 官疫毒予防説

杉田玄瑞等訳
文久二年洋書調所刊 一冊 四、八〇〇

半紙本。元の黄色表紙(僅か虫穴有)に元題簽「官/版 疫毒預防説 全」、元見返し付。本文保存ほぼ良。コレラについて、杉田玄瑞・箕作虔備(阮甫)・坪井信良・子安鉄五郎による蘭医書からの抄訳をまとめたもの。写真版三四頁参照

三三三 婦嬰新説

合信(ベンジャミン・ホブソン)著
管茂材撰 幕末頃刊 桃樹園三宅氏藏
板 萬屋兵四郎版 婦嬰新説 二冊 一六、八〇〇
板入

美濃判。元の空押模様入り黄色表紙に元題簽「婦嬰新説 上(下)」付。巻頭に藏版印ある扉紙及び口絵七丁入り。保存ほぼ良。写真版三四頁参照

三三三 脚氣新説

大英亞晰著 長谷川泰訳述
明治四年官許 行餘堂藏梓 一冊 五、五〇〇

半紙本。元の空刷模様入り黒表紙に黄色元題簽「脚氣新説 全」、黄色元見返し付。旧蔵小丸印一顆有。保存ほぼ良。写真版三四頁参照

三三三 痢病論附録麻診略論

石黒忠恵訳述 (明治四年)刊
大学東校官版 須原屋伊八・島村屋利 一冊 一六、五〇〇
助發兌 東校活版

半紙本。元の黄色表紙に元題簽「痢病論附録麻診略論 完」、「大学東校官版局之印」の朱印ある紅色元見返し付。版心「東校官版」。本書の本文に使用されている活字は鳥霞谷作製の金属活字ではなく木活字。旧蔵小丸印一顆有。保存良。写真版三四頁参照

三三三 虎烈刺論

石黒忠恵訳述 明治四年序刊
大学東校官版 須原屋伊八・島村屋利 一冊 一七、五〇〇
助發兌 東校活版

半紙本。元の黄色表紙に元題簽「虎烈刺論 完」、「大学東校官版局之印」の朱印ある紅色元見返し付。版心「東校官版」。奥付に「東校活版 大学大寫字生/鳥霞谷發明」とある通り、本書の本文に使用されている活字は鉛の合金を用いて鳥霞谷が製造した金属活字。旧蔵小丸印一顆有。保存良。写真版三四頁参照

三三三 金石一覽図解

ダナ著 大坪源造訳 吉井亨校閲
明治十六年刊 文光堂藏梓 二冊 二二、一〇〇
中西栄次郎・梶田勘助等版
色刷ニス引鈔物図入 保存良

半紙本。元の黄色表紙に藍色元題簽、紅色元見返し付。巻頭の銅版彩色刷口絵にニス引き有。写真版三四頁参照

三三三 満清紀事

江戸末期刊 木活字版 白文
朱書入れ有 太平天国の乱 一冊 六、〇〇〇

美濃判。元の綠色表紙に元題簽「満清紀事 全」、元見返し付。本文僅か虫食あるも保存ほぼ良。朱点及び朱の校合書入れを有する木活字版の本文全二十二丁に加え、巻頭に太平天国の乱に関する記事(唐通事平野繁十郎・鄭幹輔による「船主船役共之内より承り候二付書付兼(ママ)上申候」の末文あるものを含む、「八千種屋蔵書」箋使用、墨付七丁)を合綴する。写真版三五頁参照

和本

四般若心經

内大臣近衛家久筆 正徳頃写
紺紙金泥裝飾經 軸装 函付

一幅 二七、〇〇〇

料紙の大きさ約三〇×五七糎。上下に金泥下絵及び金箔・砂子・野毛を散らした金界入りの豪華裝飾紺紙二紙継ぎ、金字の本文二十行。末に同筆で「内大臣家久」の署名があり、正徳元〜五年に内大臣を務めた近衛家久の筆であろう。
写真版三五頁参照

五仏説善悪因果經

江戸前期写
正保三年心蓮社行誓書写元奥書

一冊 三、〇〇〇

美濃判。中央に「因果經」、右下に「心蓮社」、左下に「行誓之」の墨書ある香色表紙、又巻頭遊び紙にも中央に「善悪因果經」右下に「心蓮社」、左下に「行誓之」の墨書がある。続く本文は十七丁、細かな調点書人のほか、欄外にも注書人がある。最終丁ウラから裏見返しにかけて「書置も…」の和歌、「南無阿弥陀仏」「干時正保三年霜月十五日」「行誓在判」の墨書がある。
写真版三五頁参照

六鎮州臨濟慧照禪師語録 カナ附

唐・義玄撰 宋・慧然等編
延徳三年元奥書
慶安二年刊 臨濟録

一冊 六、八〇〇

秋田屋平左衛門版。半紙本。元の藍色表紙に元題簽「臨濟録 カナ附」一付。序文一丁、本文三十五丁。四周双辺、無界。末に「延徳三年辛亥八月十五日季恭居士鏤梓捨入ノ濃之正法栖雲院」の元奥書を刻しているとおり、本書は延徳三年刊美濃正法寺版のテキストに調点を附し、読みを片仮名で傍書し出版したものである。一部に朱点書人あるも保存はば良い。
写真版三五頁参照

七遊仙窟

張文成著 慶安五年刊
中野太良左衛門版 調点附刻

一冊 五、〇〇〇

美濃判。元の栗皮表紙に元題簽「遊仙窟 全」一付。末に文保三年文章生英房の後序一丁有。
写真版三六頁参照

八魁本大字 諸儒箋解 古文真宝 後集

慶安四年刊 豊興堂新梓刊
外題「新板古文真寶」 調点附刻
少書人有

二冊 四、八〇〇

美濃判。元の栗皮表紙に元題簽「新板 古文真寶 (上) 下」(上巻擦れ有) 一付。末に「右之本依有文字并点錯乱而加ノ校合改而刊之者也ノ慶安辛卯孟春上旬ノ書林豊興堂新梓刊」の刊記有。本文一部に少虫食有。
写真版三六頁参照

九問槎崎賞

山県周南等作 秋本須溪輯 吉孤山校
正徳二年跋刊 漢詩文
正徳元年朝鮮通信使 原裝上本

三冊 二六、〇〇〇

美濃判。元の梅茶色表紙に元題簽「問槎崎賞 一(二・三)」完備。正徳元年來聘の朝鮮通信使節と山県周南をはじめとする徂徠学派との筆談唱和集。虫食なく保存良い上本。
写真版三六頁参照

一〇鷄林唱和集

瀬尾維賢編 正徳二年五月刊
漢詩文 正徳元年朝鮮通信使
少虫食有

一冊 六、〇〇〇

出雲寺和泉掾・瀬尾源兵衛・唐本屋清兵衛版。美濃判。元の梅茶色表紙に元題簽「雞林唱和集 序目(巻数および補遺)」及び元見返し完備。正徳元年來聘の朝鮮通信使節と、林大学頭を筆頭に幕府儒官から儒士・僧など東武・京師・浪華・諸州における種々の人々との筆談唱和集。続集に「七家唱和集」(同年十二月刊、十冊)のあることが知られる。
写真版三六頁参照